

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
2.(社福)恩賜財団 母子愛育会	1.2.3.4.5.	<p>1. 母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 目的・対象者及び参加人員 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させた。自治体の保健師 100名 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせた。自治体勤務の栄養士 30名 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成した。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等 30名 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供した。医師・助産師・看護師 290名 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高めた。先天性代謝異常症等検査技術者 50名</p> <p>2. 子ども家庭福祉情報等の提供事業 目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供した。 情報収集リスト～ 国の施策、審議会、懇談会等 虐待問題、里親問題等 病気・医療 健やか親子21関連 子育て支援 児童福祉施設・養護施設 障害児に関すること等 Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報 専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件</p>	<p>平成15年度の取組実績に準じ、下記のとおり実施する計画である。</p> <p>1. 母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。</p> <p>2. 子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。</p> <p>3. 愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。</p> <p>4. 子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。</p> <p>5. 専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。</p>
2.(社福)恩賜財団 母子愛育会		<p>3. 愛育班員等研修会～市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催 10回</p> <p>4. 子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布～育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。</p> <p>5. 専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育した。 100名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
5. 子どもの心・体と環境を考える会	思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積	<p>研究会誌「子どもの健康科学」第4巻1号発行</p> <p>第4回学術大会の講演およびシンポジウム（「現代の子育てに対する地域支援の在り方」「わが国の将来を担う子どもの健全な育成のために」）について、演者が論文化した研究会誌200部を発行、配布した。</p> <p>第5回学術大会開催 平成15年12月12日（金）13日（土）の両日、千葉大学けやき会館にて開催。参加人数約150名。「今考えよう！子ども達の環境と未来を」をメインテーマとし、2つのシンポジウム、2題の講演、3セッション11題の一般演題発表が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム：「飯倉教授追悼シンポジウム」 ・シンポジウム：「生き生きとした子どもを育む環境作り」 ・特別講演：「小児と環境ホルモン」 ・教育講演：「こどもの心身症」 ・その他一般演題では、「中学生における規範意識が学校ストレスおよび学校生活の楽しさに及ぼす影響」「小・中学校における慢性疾患患児の体調管理上の困難 - 養護教諭を対象とした質問紙調査から -」「携帯電話を介した人間関係と愛着の関わり」等、（課題1）に関連した研究報告がなされた。 <p>第2回テーマ別研究会開催 平成16年3月13日（土）、東京医科歯科大学臨床第二講堂にて開催。参加人数50名。「第1部：研究方法立案ベシク - 疫学を中心とする研究のデザインと倫理 -（京都大学大学院医学研究科助教授：中山健夫先生）」「第2部：質的研究パート2 - テキスト型データ解析の進め方：量的研究と質的研究のインターフェイス -（久留米大学大学院心理学研究科教授：津田 彰先生）」。</p>	<p>第5回学術大会開催 河野陽一大会長（千葉大学大学院医学研究院小児病態学・教授）の下、平成15年12月12日（金）13日（土）に第5回学術大会を開催予定。参加人数200名程度を予定。</p> <p>会員の質的向上を目指した研究会「テーマ別研究会」において、子どもに関する、研究や実践に役立つ課題を取り上げる。</p> <p>研究会誌「子どもの健康科学」第4巻 第1号・第2号を発行する。</p> <p>会員相互の情報交換・意見交流を目的としたメーリングリストの活用。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
7. (財)性の健康医学財団	3.9.十代の性感染症の罹患の予防と性感染症に対する若者への知識の普及・啓発	<p>3.9.十代の性感染症の罹患の予防と性感染症に対する若者への知識の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「性の健康相談室」の設置ならびに専門医による「性の健康相談」の実施 ・ ホームページの案内や保健所の紹介により44名が来診した。 * 専門の相談員による「性の健康メール相談」の実施 ・ 相談件数:2,914件(7月～3月) * 第3回性の健康週間(平成15年11月25日～12月1日)の実施 ・ 目的(主題):若い人たちの性感染症予防のために、健やか親子21運動との連携を図り、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 ・ メインイベント:市民公開講座「性感染症・エイズ - 知ろう、話そう、予防しよう」(11月26日、静岡市) 参加人数(対象者):約120名(学校関係者、保健衛生関係者、医学・医療関係者など) ・ 「性の健康週間」のポスター(1,000部)・チラシ(5,000部)の作製・配布(ポスターはホームページからのダウンロードも可能とした。) 	<p>3.9.十代の性感染症の罹患の予防と性感染症に対する若者への知識の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> * 専門医による「性の健康相談」の実施 * Eメールによる「性の健康相談」の実施 * 第4回性の健康週間(平成16年11月25日～12月1日)の実施 * “性の相談”に関する研修会・セミナーの講演依頼への対応 * 一般市民を対象とした公開セミナーの開催 * ホームページ(パソコン・モバイル版)コンテンツの充実と情報提供
7. (財)性の健康医学財団		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「エイズ/性感染症をめぐる問題点」の作成・配布(性感染症予防啓発のための一般向け小冊子、国、各自治体、関係団体などに6,000部配布) ・ 「性の健康相談」に関するリーフレット(2種各25,000枚)及びカード型メッセージカード(2種各25,000枚)の作成・配布 * “性の健康”に関する研修会・セミナーの講演依頼への対応(6件) * コンドーム研究会の開催(平成15年7月23日・東京・参加者:約110名) * 一般市民を対象とした公開セミナーの開催 ・ 2月1日 科研費成果発表会「ポジティブ・エイズ・トーク」(北九州市)(80名参加) ・ 2月12日科研費成果発表会「性感染症・エイズ - 知ろう、話そう、予防しよう」(練馬区)(206名参加) 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
10. 全国市町村保健活動協議会(NPO)	44.虐待による死亡の防止 45.虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 58.育児不安・虐待親のグループの活動への支援		3テーマに共通の計画として 機関誌による情報提供等の継続 前年とほぼ同様の取り組みをおこなう。 調査研究事業の継続 ひろく保健活動を対象とするが、その中で母子保健関連の調査事項の選定を検討、実施する。 前年度調査のモデル市町村の活動状況を機関誌に掲載、紹介する。 研修会の継続 全国研修における講演、シンポジウム及びグループ討議の中に、関連のテーマを設定する。 地方研修会(ブロック別、各県別)に対し、支援、助成を行う。地方研修会の実施内容を掌握整理する。
13. 全国助産師教育協議会	「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」に関する助産師教育の検討	第39回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成15年5月16日(金)～17日(土) 場所:東京都立保健科学大学 1. 教育制度委員会では、「助産基礎教育における教育のコア」の検討を行い、「思春期女性の支援」をあげ、性感染症に関する予防と支援や月経障害をもつ女性に対する支援などの教育内容について検討中。 2. 「避妊法・経口避妊薬」に関して、平成15年1月、全国の助産師教育機関111校の教育担当責任者を対象に、教育の実態調査を行った。回答のあった62校では、助産師教育における思春期に関する教育内容について「現在の内容で十分」は29.0%で、「さらに充実したい」が71%であった。これらの調査結果に基づいて「避妊法・経口避妊薬」に関する助産師教育案を検討中。 全国助産師教育協議会NEWS LETTERの発行(年4回) 1. NEWS LETTER No41 2003.10.24 関連記事 宮崎文子氏の「望まない妊娠の防止に向けて専門家は何をしているのでしょうかー助産師の資格を有する受胎調節実地指導員のアンケート調査よりー」 2. NEWS LETTER No42 2004.2.26 関連記事 宮崎文子氏の「受胎調節実地指導員としての継続教育状況と活動頻度」 共催事業 テーマ:避妊と性感染症予防のための実践セミナー(主催=日本家族計画協会)	1. 第40回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成16年5月21日(金)～22日(土) 場所:東京都立保健科学大学 2. 全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行 ・NEWS LETTER のなかに、関連記事をとりあげる。 3. 第30回全国助産師教育協議会研修会を開催 期間・内容は未定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
15.全国保健 所長会	5.11.	<p>5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 ＊講演会、研修会の実施 目的 薬物乱用に関する現状と薬物乱用の有害性を訴えたと共に、青少年には使用を誘われた時の断り方など伝えたり、周囲の人々に青少年を護ろうという意識を持ってもらったり、将来的には再乱用防止のためのシステム作りを目指した。 対象者 中・高生、教職員、ネットワーク構成員、PTA、一般市民等延べ4,460人受講。 開催数 平成15年9月～平成16年3月に18回開催 講師 熱心に薬物乱用防止活動を展開している「元・現教員3人」、「依存症治療病院等医師2人」、「ダルク等関係者3人」等幅広い立場の専門家を招いた。 効果 「薬物乱用はテレビの中の世界」と多くの人が考えていたが、いろいろの立場の大勢の講師から薬物乱用に関する現状や、その有害性について聞くことによって、自分や自分の子供・孫と関わりのないことではない事を認識するようになった。</p>	<p>地域保健推進特別事業補助金を申請中、補助金が得られなければ出来る範囲内での事業に縮小される。 5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓 ＊薬物乱用防止講演会 ・目的 各中学、高校において、生徒や保護者に薬物乱用の本質、影響、実態、断り方などを啓発し、乱用防止の抑止力とする ・開催回数 15回 ・開催場所 各中学校、高等学校 ・人数 100～800人 ＊チームティーチング講師派遣及び学習機会の提供 ・目的 幼児、児童、生徒に「くすり」と食べ物の違いや、「くすり」の正しい使い方などの正しい知識を伝え、乱用防止の基礎的抑止力とする ・期間 平成16年9月～平成17年3月 ・対象 各学校クラス、グループ単位で20回 ＊生徒薬乱防止自主活動支援 ・目的 生徒が自主的に行う薬乱防止活動の支援 ・期間 平成16年9月～平成17年3月 ・方法 情報提供や人的、物的支援 ・支援数 人的・物的支援については10回</p>
15.全国保健 所長会		<p>＊薬物乱用防止パンフレットの作成 目的 学校の授業に活用して青少年に薬物乱用に関する現状と薬物乱用の有害性を伝えるとともに、地域の住民にも薬物乱用について理解しやすい形でピーアールし、「薬物乱用をしない、させない地域づくり」に寄与する。 対象者 市内全世帯 および中学、高校 並びにネットワーク参加機関・団体 特色 薬物乱用のメカニズムを平易に解説していること、地域のアンケート結果の要点、薬物乱用防止教室で質問の多かった事項の Q and Aを入れた地域の特性を盛り込んだものであること</p>	<p>11.外部機関と連携した薬物乱用防止教育等の推進 ＊薬物乱用防止ネットワーク推進協議会 ・目的 関係機関、団体の活動の連絡調整をはかる ・開催回数 年 2～3回 ・開催場所 保健福祉事務所等 ・人数 28人/回 ＊桐生「くすり」教育研究会 ・目的 前年の反省を踏まえ薬物乱用防止を図るには、家庭および小学校からの薬物理解教育が必要であり、そのためには指導者育成と教材の作成が求められる。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
15.全国保健 所長会		<p>11.外部機関と連携した薬物乱用防止教育等の推進 * 連携組織の構築 1 目的 従来からの縦割り型活動は有効性が低いことから、これまで余り連携のなかった警察関係、保健衛生関係の機関・団体に教育・福祉・ボランティア関係の機関・団体も合わせた「薬物乱用防止ネットワーク推進協議会」を立ち上げ、学校を中心とした薬物乱用防止活動に一体的に連携・協力して取り組むことにした。 また、従来から有る県単位での連携組織では組織が大きすぎて、地域での実効性に乏しかった。 対象者 某県内某市内の各組織・団体の代表28名 開催数 2回 効果 以前には見られなかった、各組織・団体の連携協力が見られるようになった。</p>	<p>養護教諭や保体等各科教諭中の希望者、学校薬剤師など有志で研究会を組織し、薬物乱用防止教育や「くすりの正しい知識」の教授法や教材を開発する。先進地視察も含む。 ・開催回数 年6回 ・開催場所 保健福祉事務所等 ・人数 20人/回 * 薬物乱用防止研修 ・目的 校長、教頭や生徒指導主事の先生方に、薬物乱用の何が問題なのか、乱用者を探知した時ただ切り捨てるのではなく、どの様に対応すべきかを理解頂くための研修 ・回数 年3回 ・開催場所 市民文化会館研修室 ・人数 60人/回</p>
15.全国保健 所長会		<p>* 連携組織の構築 2 目的 「薬物乱用防止ネットワーク推進協議会」の下部組織として、「薬物乱用防止研究会」を同時に立ち上げ、定期的に会合を持って従来の啓発活動の問題点や解決方法の具体的検討などを進め、市内での効果的な薬物乱用防止対策を総合的に検討し、実施可能な対策を打ち出す、実質的な推進組織とする。 あわせて、薬物乱用防止に関する研究・研修の場としても位置づけ、薬物乱用防止に関する授業において教授できる人材を育成することや、講演会・研修会の企画、並びに中・高生用アンケート調査及び教職員用アンケート調査の原案作成等行う。 対象者 教育関係者を中心とするネットワーク構成組織からの有志14名 開催数 8回、この他会員は各所で開かれた各講演会に積極的に参加し学習した。 効果 会員は、薬物乱用の実態などへの認識を深め、まだ一部の会員であるが、講演会の講師をつとめるようになった者も出ている。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	1.2.3.8.9.	<p>1 十代の自殺予防 2 十代の人工妊娠中絶の予防 3 十代の性感染症罹患の予防</p> <p>8 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発</p> <p>9 性感染症に対する若者の知識・技術の普及・啓発</p> <p>* 思春期健康教育</p> <p>目的: 思春期の性感染症の防止や人工妊娠中絶の減少をめざして学校教育と連携をとり、知識技術の普及啓発を実施する。更に乳幼児とのふれあいを通していのちの尊厳を学ぶ。</p> <p>参加人数(対象者): 26,610人(小中高高校生、保護者)</p> <p>開催数、方法等: 175回 学校行事で実施。</p> <p>効果、その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の感想として「身体を大事にしようと思った。」 ・性感染症は恐ろしいということがストレートにつながったとあった。 ・自己決定能力の育成につながったと考える。 ・性に関する知識の曖昧な点と性に関する児童の本音を聞くことが出来た。 <p>* 思春期赤ちゃんふれあい体験学習</p> <p>目的: 生命の尊厳と母性、父性の涵養をはかる。</p> <p>参加人数(対象者): 9,816人(小中高高校生)</p> <p>開催数、方法等: 70回</p> <p>効果、その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験後、赤ちゃんに対するプラスのイメージが増加した。 ・体験後育児ボランティアに参加した子もいた。 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17.全国保健師長会	2.3.6.7.8.9.	<p>20代の人工妊娠中絶の予防 8 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 30代の性感染症疾患の予防 9 性感染症に対する若者の知識・技術の普及・啓発 * 思春期相談 目的:身体的精神的問題、性に関する不安や悩みについて相談を行い、豊かな人間性や社会性を身につける。 参加人数(対象者):143件 開催数、方法等: 電話・面接・メール 効果、その他: ・専用電話やメールで相談を受けることにより、利用者の便宜がはかられた。 * エイズ関連行事 目的:思春期の青少年がエイズや性について理解を深め、性感染症を予防する。 参加人数(対象者):2,015人(小、中、高校生) 開催数、方法等:パネル展示 1回 講演8回 効果、その他:・エイズや性について理解をはかった。 20代の人工妊娠中絶の予防 30代の性感染症疾患の予防 70代の飲酒の防止 8 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 60代の喫煙の防止</p>	
17.全国保健師長会		<p>9 性感染症に対する若者の知識・技術の普及・啓発 * 健やか親子キャンペーン相談事業 目的:エイズを含めた若者の性感染症の急増について説明し、性感染症の蔓延を防ぐ。 参加人数(対象者):781人 開催数、方法等:静岡支部でイベント時に開催。パネル展示 相談 アルコールパッチテスト 効果、その他:・エイズや性感染症について理解をはかると共に、思春期の課題でもある飲酒、喫煙問題の投げかけをした。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17.全国保健師長会	3.6.9.10.	<p>30代の性感染症罹患の予防 9 性感染症に対する若者の知識・技術の普及・啓発</p> <p>10 学校保健委員会の開催と開催への支援の強化</p> <p>* 思春期保健従事者研修</p> <p>目的:性感染症の現状を学び、疾病について理解を深める。又、関係者が共通理解をし、思春期の子どもをサポートする関係者の資質向上と拡大を図る。</p> <p>参加人数(対象者):614人(学校関係者 保護者 保健関係者等)</p> <p>開催数、方法等:5回</p> <p>効果、その他:・養護教員以外の教員の関心も高くなった。行政・学校・地域の連携のもとに推進することが重要である。</p> <p>60代の喫煙防止</p> <p>* 児童生徒の喫煙防止対策事業</p> <p>目的:地域・学校等の関係者で構成するたばこ対策推進協議会を設置し、児童生徒の喫煙防止にむけて強力な実践活動を展開する。</p> <p>参加人数(対象者):990人(小、中、高校生)</p> <p>開催数、方法等:喫煙に関する意識及び実態調査 小学校6 中学校2 高校1</p> <p>喫煙防止教育実施 小学校260人中学校440人高校290人</p> <p>研修会の実施 行動計画の策定</p> <p>効果、その他:・学校・地域連携のもとで喫煙防止教育内容の方向性は確保出来た。</p> <p>・児童の作文にも「たばこの害がよくわかった。」と感想があった。</p>	
17.全国保健師長会		<p>* 子どもたちの防煙防止研修会</p> <p>目的:関係者が子ども達の喫煙問題を知り、防煙対策の必要を認識することで地域ぐるみの防煙対策につなげる。</p> <p>参加人数(対象者):57人</p> <p>開催数、方法等:1回</p> <p>効果、その他:・市町村の関係者が取組を明確にすることによって喫煙問題を共有することができた。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	6	<p>6 十代の喫煙防止</p> <p>* 児童生徒の喫煙防止対策事業</p> <p>目的: 喫煙の健康に及ぼす害について考える。</p> <p>参加人数(対象者): 調査9校 喫煙防止教育9,529人</p> <p>開催数、方法等: 喫煙に対する意識・実態調査</p> <p>喫煙防止教育 96回</p> <p>効果、その他: 学校関係者、地域保健関係者の連携のもとで小学生の喫煙防止教育内容の方向づけは確保できた。</p> <p>内容が実験、視覚に訴えるものを活用したことで好評であった。</p>	
18. 全国養護教諭連絡協議会	3.5.9.感染症対策、薬物乱用への対応、エイズ・性教育、養護教諭の資質向上に関する研修	<p>3.5.9.サーズ・薬物乱用・エイズ・性教育に関する知識の普及とその対応</p> <p>及び予防教育の進め方についての普及・啓発。</p> <p>* 研修会を開催</p> <p>第6回研修会</p> <p>(1)目的(テーマ):サーズ・薬物乱用・エイズに関する情報伝達、予防対策についての具体的な対応や指導法を研修する。</p> <p>(2)参加人数(対象者):200名(養護教諭)</p> <p>(3)開催月日:平成15年8月26日・27日・28日(3日間)</p> <p>(4)開催場所:国立オリンピック記念青少年センター</p> <p>(5)研修内容:</p> <p>1 サーズをはじめとする感染症対策について 講師;国立感染症研究所感染症情報センター 砂川 富正</p> <p>2 規制薬物を乱用する生徒への対応における学校と取締機関との連携 講師;国立下総療養所薬物依存研究室長 平井 慎二</p> <p>3 エンカウターの実際と理論 講師;聖徳栄養短期大学人文科学系助教授 岡田 弘</p> <p>4 エイズで教えること 講師;(社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長 岩室 紳也</p> <p>5 エイズ教育のあり方 講師;(社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫</p> <p>6 ライフスキルを育てる指導法の実際 講師;川口市立戸塚中学校養護教諭 村木 久美江</p>	<p>3.4.5.6.7.9.10.及びカウンセリングに関する知識の習得に関する研修</p> <p>* 研修会を実施</p> <p>開催数を2回に拡大</p> <p>1 平成16年7月28日・29日</p> <p>2 平成16年8月16日・17日</p> <p>場所:国立オリンピック記念青少年総合センターで実施予定</p> <p>参加人員:200名程度を予定</p> <p>* 研究協議会を開催</p> <p>開催月日;平成17年2月25日(金)</p> <p>開催場所:メルパルク東京ホール</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
18. 全国養護教諭連絡協議会		<p>健康教育に関する知識の普及と指導の強化</p> <p>* 研究協議会を開催</p> <p>(1) 目的: 現代的な健康課題への健康教育の進め方と養護教諭の役割について啓発・指導の強化を図る。</p> <p>(2) 参加人数(対象者): 1500名(養護教諭)</p> <p>(3) 開催月日: 平成16年2月27日</p> <p>(4) 開催場所 : メルパルク東京ホール</p> <p>(5) 研究内容</p> <p>1 特別講演「子どもの脳に何が起きているのか」 講師: 東京大学名誉教授 養老 孟司</p> <p>2 基調講演 講師: 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育調査官 采女 智津江</p> <p>3 フォーラム「養護教諭のこれまでとこれから」 コーディネータ 全国養護教諭連絡協議会副会長 安藤 節子</p> <p>発表者 大阪府立河南高等学校長 森川 英子 江戸川区立篠崎第3小学校主幹 小松 良子 愛知教育大学大学院生 森田 のり子 川崎市立田島養護学校養護教諭 山田 カヨ子</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
20.(社)日本 医師会	1.6. 学校保健委員会開催 学校医講習会開催 全国学校保健・学校医大会開催 「学校医の手引き」作成 各科専門医の学校 保健活動に関する実践研究事業の実施	1.十代の自殺の予防 自殺予防マニュアル - 一般医療機関におけるうつ状態・うつ病の早期発見とその対応 - の作成 6.10代の喫煙の防止 ・日本医学会総会公開展示(平成15年4月2日～8日) 禁煙啓発パネル展示・ビデオ放映・パンフレットの配布 学校保健委員会開催 会長諮問「学校医活動の実践とその展開方法について」 答申作成 平成15年度学校医講習会 平成16年2月14日(土) テーマ「特別支援教育に対する学校医の関わり」 対象:日本医師会員である学校医 参加人数:約290人 第34回全国学校保健・学校医大会(青森県)平成15年 11月8日(土) 「たくましく生きる子どもたちの育成をめざして」 対象:都道府県医師会関係者及び学校医 参加人数:約590人 「学校医の手引き」作成 各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施 学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で3か所に委託し、研究事業を実施した。	6 10代の喫煙の防止 ・未成年者向け禁煙啓発パンフレット作成 ・WHO神戸センター - 世界禁煙デー - 展示イベント (平成16年5月26日～6月4日) 禁煙啓発パネル展示・パンフレットの配布 学校保健委員会開催 平成16年度学校医講習会を開催予定 対象:日本医師会員である学校医 参加人数:300人を予定 第35回全国学校保健・学校医大会を開催予定 (福島県) 平成16年10月30日(土) 「地域で考えよう子どもの健康 - 生き生き子ども達との共生をめざして - 」 対象:都道府県医師会関係者および学校医 参加人数:650人を予定 各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施 学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で5か所に委託し、研究事業を実施する予定。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.	<p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</p> <p>2.3.8.9.「避妊と性感染症予防のための実践セミナー」の開催</p> <p>1.開催趣旨</p> <p>20歳未満の若者たちの性行動の低年齢化、加速化が現実のものとなっているにもかかわらず、親や教師からの科学的、具体的な性に係る指導がなされていないこともあってか、1995年以降の人工妊娠中絶率の急増と、クラミジアをはじめとした性感染症の拡大は、リプロダクティブ・ヘルスの視点からも看過できない深刻な事態となっております。厚生労働省の研究班などは、このような事態を、HIV/エイズの急激な拡がりを予測させるものと警告を発しています。</p> <p>私どもが実施してまいりました『避妊と性感染症予防』をテーマにした指導者セミナーは、時宜にあったセミナーとして高い評価を頂いており、特に、若者たちと直接関わるチャンスが多い養護教諭や、性教育への取り組みに熱心な助産師や保健師からは、研鑽の場として今後も参加したいとの熱心な声が届いております。これらの要望に答えるために、平成15年度は、「教える」ことに重点をおいた「実践セミナー」の開催を企画いたしました。</p> <p>是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。</p>	<p>2.3.8.9.</p> <p>明日から役立つ「性」の健康セミナー ～避妊と性感染症予防をテーマに～の開催</p> <p>(社)日本助産師会、全国助産師教育協議会との共催により開催する。</p> <p>開催日:土曜日(月日は未定)</p> <p>会 場:全国8会場で開催(大阪、那覇、仙台、札幌、福岡、名古屋、広島、東京)</p> <p>対 象:保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、学校関係者等</p> <p>13.思春期外来(婦人科/泌尿器科/精神科)の充実</p> <p>クリニック部門は厚生労働省、電話相談部門は東京都からの助成を得て女性のための健康ホットライン、不妊ホットライン、健康教室など女性の生涯にわたる健康支援事業の推進を図る。</p> <p>(1)クリニック部門</p> <p>診療日:火曜日、金曜日、第2土曜日</p> <p>担当医:松本清一 本会会長 北村邦夫 本会市谷クリニック所長 岩室紳也 (社)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター所長(泌尿器科担当) 米沢宏 慈友クリニック(精神科担当)</p> <p>担当助産師:清水敬子、中村美由紀 他10名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>2.主催/共催(社)日本家族計画協会 (社)日本助産師会 全国助産師教育協議会 国立大学等保健管理施設協議会エイズ・感染症特別委員会</p> <p>3.対象者 保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、 医師、カウンセラー、 その他(保健・医療・教育・福祉関係者等)</p> <p>4.講師 安 達 知 子: 東京女子医科大学産婦人科学教室 助 教授 北 村 邦 夫: (社)日本家族計画協会クリニック 所長 種 部 恭 子: 済生会富山病院産婦人科 長 尾 啓 一: 国立大学等保健管理施設協議会エイ ズ・感染症特別委員会 委員長/千葉大学保健管理セン ター 所長 野 口 まゆみ: 西口クリニック婦人科 院長 村 瀬 幸 浩: 一橋大学/津田塾大学 講師</p> <p>5.プログラム 9:00~受付 9:30~開会 9:40~講義 「若者たちの性が危ない」~今期待される性 教育とは~ 11:10~休憩 11:20~講義 「実践的な性の健康学習1」~性感染症予 防の具体的な教え方~ 12:20~昼休み 13:20~講義 「実践的な性の健康学習2」~避妊の具体 的な教え方~</p>	<p>2)電話相談部門 1)女性健康支援センター事業(東京都・女性のた めの健康ホットライン) 相談日:月曜日~金曜日 10時~16時 相談員:星弘美、羽田真里子 他20名 2)思春期・FPホットライン 相談日:月曜日~金曜日 10時~16時 相談員:川口真理子、片江美智子 他20名 3)不妊専門相談センター事業(東京都・不妊ホット ライン) 相談日:火曜日 10時~16時 相談員:赤城恵子、堀弘子 他 (3)不妊専門相談員研究会の開催 日 時:毎月最終月曜日 15時~18時 場 所:本会リプロ・ヘルスセンター 内 容:不妊の原因と検査、電話対応の方法、他 (4)ピルサポートデスク電話相談 相談日:月曜日~金曜日 10時~16時 相談員:受胎調節実地指導員 (5)ピルダイヤル 相談日:月曜日~金曜日 10時~16時 相談員:受胎調節実地指導員 (6)実習および見学者への対応 随時見学および実習希望者への対応を行なう。 (7)講師の派遣 市町村、保健所、学校などの要望に応じて派遣す る。 (8)研究開発事業 望まない妊娠、人工妊娠中絶を防止するための効 果的な避妊教育プログラムの開発に関する研究。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		14:20～休憩 14:30～まとめ・討議 16:00～閉会 6.開催実績(当初定員数/参加者数) 大阪 300名/296名 札幌 180名/179名 東京 300名/292名 仙台 200名/205名 熊本 180名/180名 広島 200名/173名 高松 200名/140名 名古屋 200名/217名 合計1,682名 13.思春期外来(婦人科/泌尿器科/精神科)の充実 日本家族計画協会では、1984年7月から思春期を対象とした婦人科専門外来を開設したが、1989年には、厚生省(現厚生労働省)がクリニック運営費の一部を補助するようになっただけでなく、1994年からは、私どものクリニックをモデルとした地方クリニックの設置に踏み切っている。以下、2003年度の診療実績を示した。	13.地方クリニックの整備と充実 現在、地方クリニックとしては17施設が登録されているが、これを30施設にしたい 2.3.8.9.13.ホームページの充実 クリニック独自のホームページを充実させ、インターネットを通じて、思春期の子供たちへの情報提供を行う。(http://www.jfpa-2.8.13.緊急避妊法の推進と緊急避妊ネットワークの拡充と産婦人科医のための緊急避妊セミナー 2001年12月に広く全国の産婦人科医療施設に対して「緊急避妊ネットワーク」への参画を呼びかけた所、2004年3月末までに1,315施設が加入している。ちなみに本会クリニックには、2003年11月までに583人が緊急避妊を求めて来院している。 『参加者がつくる、産婦人科医のための緊急避妊実践セミナー』 日 時 5月22日(土)17:00～23日(日)16:00 場 所 御殿山ヒルズ ホテルラフォーレ東京 J R品川駅より徒歩10分 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-36 電話 03-5488-3911

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>クリニック(婦人科) 年次合計 婦人科回数 154 初診 270 再診 2205 合計 2475 昨年同期 2583 比較 - 108</p> <p>クリニック(泌尿器科) 年次合計 泌尿器科回数 12 初診 19 再診 91 合計 110 昨年同期 54 比較 56</p> <p>クリニック(精神科) 年次合計 精神科回数 10 初診 10 再診 11 合計 21 昨年同期 22 比較 -1</p>	<p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.13.全国の思春期保健に関心のある指導者を対象とした「思春期保健セミナー」の開催とセミナー修了者を対象にした卒後セミナー、更にグレードアップセミナーの開催</p> <p>1. 思春期保健相談士学研究大会を開催し、思春期保健相談士の全国組織に向けてネットワーク化を図る。 期 日： 7月16日(金) 会 場：すみだリバーサイドホール(東京都墨田区) 対 象：思春期保健相談士、思春期保健事業関係者等</p> <p>2. 思春期保健セミナーの開催 厚生労働省、文部科学省、日本思春期学会、開催県並びに地元教育委員会などの後援により、思春期保健相談士養成セミナー・コース を2回、コース を2回、コース を2回、上級コースを1回計7回開催する。東京都のほか千葉県(成田市)、佐賀県(佐賀市)、愛知県(名古屋市)、山口県(山口市)において開催する。 対 象：医師、保健師、助産師、看護師、養護教諭、教員、カウンセラー等 【コース】(総論編) 第45回 期 日： 6月18日(金)～ 6月20日(日) 会 場：アバンセ(佐賀県佐賀市) 定 員：300名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		13.地方クリニックの整備と充実 現在、地方クリニックとしては17施設が登録されている。 平成15年度思春期地方クリニック相談件数 開設場所 合計 慶愛病院 264 札幌太田病院 229 青森労災病院 1200 長池産婦人科 53 村口きよ女性クリニック 168 針生婦人科内科クリニック 267 大草レディースクリニック 641 いえさか産婦人科医院 347 重城産婦人科小児科 347 岩倉病院 437 関根産婦人科医院 142 北信母体保護相談所 685 羽島市民病院 107 三宅産婦人科内科医院 256 石川クリニック 295 北九州津屋崎青春期内科 1383 瀬戸産婦人科医院 113	第46回 期 日: 7月30日(金)～ 8月 1日(日) 会 場: 全共連ビル(東京都千代田区) 定 員: 380名 【コース】(各論編・コース 修了者対象) 第37回 期 日: 9月24日(金)～ 9月26日(日) 会 場: 全共連ビル(東京都千代田区) 定 員: 350名 第38回 期 日: 10月22日(金)～ 10月24日(日) 会 場: 愛知県産業貿易館(愛知県名古屋市) 定 員: 250名 【コース】(実践編・コース 修了者対象) 第46回 期 日: 12月10日(金)～ 12月12日(日) 会 場: ホテルニュータナカ(山口県山口市) 定 員: 180名 第47回 期 日: 平成17年 1月 7日(金)～ 1月 9日(日) 会 場: 成田ビューホテル(千葉県成田市) 定 員: 250名 【上級コース】 第 5回 期 日: 平成17年 2月25日(金)～ 2月27日(日) 会 場: 成田ビューホテル(千葉県成田市) 定 員: 150名

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>地方クリニックの活動実績の一部を本会機関誌「家族と健康」の「シリーズいまどきの思春期」コーナーで取り上げた。 http://www.jfpa.or.jp/02-kikanshi1/index.html</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 瀬戸産婦人科医院(熊本県) 瀬戸致行 2. 北信母性保護相談所(長野市) 所長 渡邊智子 3. 北九州津屋崎病院副院長 森 崇 4. 慶愛病院副院長・十勝性を考える会事務局長 真井康博 5. 重城産婦人科小児科(木更津市) 重城利國 6. 大草レディースクリニック(栃木県) 伊野田法子 7. いえさか産婦人科医院 家坂清子 8. 札幌太田病院心療内科 太田耕平 9. 松田マタニティクリニック(福井県敦賀市) 松田和則 10. 長池産婦人科・相談室(仙台市) 長池文康 11. 石川クリニック(神戸市) 石川英二 12. 針生婦人科内科クリニック(秋田市) 針生峰子 13. 青森労災病院産婦人科 片桐清一 14. 三宅婦人科内科医院(大阪市) 三宅侃・甲村弘子 15. 岩倉病院産婦人科(東京都江戸川区) 岩倉弘毅 16. 医療法人社団憲信会関根産婦人科(東京都練馬区) 関根憲、関根憲治 17. 村口きよ女性クリニック(仙台市) 村口喜代 	<p>2.3.8.9.第4回思春期ピアカウンセリング・コーディネーター研究集会 期 日: 5月21日(金)～ 5月23日(日) 会 場: 社会保険桜上水研修所(東京都世田谷区) 対 象: 思春期保健・母子保健関係者、養護教諭等</p> <p>2.3.8.9.若者のための第4回ピアカウンセラー養成セミナー 基礎コース 学生向け宿泊研修(3泊4日) 期 日: 8月27日(金)～ 8月30日(月) 会 場: 社会保険桜上水研修所(東京都世田谷区) 対 象: 18～22歳までの学生でピアカウンセリングの理念とスキルを学びたいもの</p> <p>2.3.8.9.若者のための第1回ピアカウンセラー養成セミナー フォローアップコース 学生向け宿泊研修(1泊2日) 期 日: 12月18日(土)～12月19日(日) 会 場: 社会保険桜上水研修所(東京都世田谷区) 対 象: 18～22歳までの学生でピアカウンセリングの理念とスキルを学びたいもの</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		2.3.思春期を対象とした性教育講演の実施、学園祭などでの出前相談 市町村、保健所、学校などの要望に応じて派遣した。 主催者 人数 北海道大学医療技術短期大学部 500 中央大学付属高等学校 1,050 安城学園高等学校 1,800 総合母子保健センター 愛育病院 40 田園調布学園大学 360 千葉県立柏西高等学校 920 三島市教職員組合 200 嬉野町 保健センター 700 日本大学豊山中学校 641 熱塩加納村 200 佐久ロータリークラブ 251 県立糸魚川高等学校 900 上毛新聞社 40 三重県伊賀上野保健福祉部 60 人間と性教育研究協議会 1,000 東京顕微鏡院 550 子どもと健康編集部 600 全国養護教諭連絡協議会 180 札幌市保健福祉局保健衛生部 500 札幌市保健福祉局保健衛生部 300 石川県能登中部保健福祉センター 200 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 50	2,3,8,9 第1回「思春期ピアカウンセラー養成者」養成セミナー 期 日:前期 9月 8日(水)～ 9月12日(日) 後期 平成17年 1月29日(土)～ 1月30日(日) 会 場:社会保険桜上水研修所(東京都世田谷区) 対 象:思春期セミナー上級コースにてピアカウンセリングコースを修了した者またはセクシュアリティに関して教授・研究をしている者 8.第8回ライフスキル教育セミナー(思春期保健相談士研修会)の開催 生きる力、変化に対応するライフ・スキルをテーマに開催する。 期 日:12月23日(木) 会 場:ペアーレ新宿(東京都新宿区) 後 援:日本思春期学会 対 象:思春期保健相談士、医師、教師、カウンセラー、ケースワーカー他 定 員:100名
22.(社)日本 家族計画協会		四日市医師会 150 高崎健康福祉大学短期大学 100 山口県防府健康福祉センター 500 静岡熱海健康福祉センター 600 静岡熱海健康福祉センター 300 安中市教育委員会 800 山形市保健センター 150 佐久市教育委員会 600 豊川高等学校 1,000 小平市学校保健会 80 三重県医師会 200 大阪府医師会 350 合計 15,872	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.日本思春期学会・東京思春期保健研究会の事務局を担当 1.日本思春期保健学会 (1)学会誌「思春期学」の編集発行、会員管理、会計業務を行なう。 (2)第23回日本思春期学会総会および学術講演会に学会事務局として協力する。 学会長:筑波大学体育科学系スポーツ医学教授 目崎 登 メンテ-マ:「心とからだの健康」 期 日:総会および学術講演会 8月 7日(土)～ 8月 9日(月) 会 場:つくば国際会議場(茨城県) 2.東京思春期保健研究会 (財)東京都予防医学協会とともに、同研究会の活動に参加協力。総会並びに研修会の開催。会員管

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>2.3.8.9.13.ホームページの充実 クリニック独自のホームページを充実させ、インターネットを通じて、思春期の子供たちへの情報提供を行っている。 (http://www.jfpa-clinic.org)</p> <p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.日本家族計画協会 若者委員会 U-COM(JFPA Youth Committee)への活動支援 リプロダクティブ・ヘルスをテーマに、若者自身によるピア カウンセリングスキルの取得、カウンセリング等の活動を 支援した。</p> <p>(1)定例会の開催 第11回(平成15年度前期) 期 日:平成15年 8月10日(日) 会 場:本会リプロ・ヘルスセンター「多目的ホール」(東京 都新宿区) 運営委員 委員長 母子保健研修センター助産師学校 梁川亜希子 副委員長 国際医療福祉大学 石井杏佳 事務局長 中央大学 柳田正芳 第12回(平成15年度後期) 期 日:平成16年 3月20日(土) 会 場:本会リプロ・ヘルスセンター「多目的ホール」(東京 都新宿区) 内 容:平成15年度活動の報告</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>(2)ライブイベント 若者の間でSTDや人工妊娠中絶が減らないのは、若者がコンドームの楽しさを知らないために使用を嫌うからだ。という出発点に立ちコンドーム使用をアピールしたライブイベントを開催した。</p> <p>1) Enjoy CONDOMing! 期 日:平成15年 6月21日(土)東京都渋谷区</p> <p>2) Enjoy CONDOMing! 浜松編 期 日:平成15年 8月 2日(土)静岡県浜松市</p> <p>(3)勉強会の開催 1)性の寺子屋(性に関する勉強会) 第6回 期 日:平成15年 6月15日(日) 内 容:Enjoy CONDOMing!に向けて</p> <p>2)U-COMアカデミー(外部の方を招いた講義形式の勉強会) 第1回 期 日:平成15年 5月18日(日) 内 容:性感染症概論 第2回 期 日:平成15年 9月28日(日) 内 容:妊娠・出産 第3回 期 日:平成16年 3月20日(土) 内 容:避妊を考える</p>	
22.(社)日本 家族計画協会		<p>(4)その他 1)第33回全国性教育研究大会にパネリストとして委員長が参加 期 日:平成15年 8月 7日(木)栃木県宇都宮市</p> <p>2)南々協力国際会議(国連大学)で活動を紹介 期 日:平成15年 9月 5日(金)東京都渋谷区</p> <p>3)渋谷区エイズデーにおける渋谷区保健所との協力企画 期 日:平成15年12月 1日(月)東京都渋谷区</p> <p>4)健やか親子21推進シンポジウムにパネリストとして事務局長が参加 期 日:平成15年12月24日(火)栃木県宇都宮市</p> <p>(5)ホームページの開設 http://www.jfpa.or.jp/04-ucom/index.html</p> <p>2.8.13.緊急避妊法の推進と緊急避妊ネットワークの拡充 2001年12月に広く全国の産婦人科医療施設に対して「緊急避妊ネットワーク」への参画を呼びかけた所、2004年3月末までに1,315施設が加入している。ちなみに本会クリニックには、2003年11月までに583人が緊急避妊を求めて来院している。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		1.2.3.4.5.6.7.8.9.東京都から委託を受けて実施している女性の健康支援事業(平成15年度は、思春期ホットライン、女性のための健康ホットラインを含む) 思春期・FP電話相談 年次合計 思春期・FP開設日数 246 男性 4393 女性 1666 合計 6059 昨年同期 5651 比較 408 無言 2574 イタズラ 401 留守電(2638) 2400 留守電(7700) 149	
22.(社)日本 家族計画協会		20歳未満男性の悩み(%)2003年度 合計 全年齢(件) 4393 自慰 754 包茎 748 射精 630 性器 503 性交 283 その他 271 性欲 256 その他性知識 232 STD 145 避妊 120 問題行動 96 近親姦 89 精神・心 74 病気 66 妊娠 59 男女交際 36 夫婦問題 15 エイズ 10 不妊 4 緊急避妊 1 不明 1	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		20歳未満の女性の悩み(%)2003年度 合計 全年齢(件) 1,666 緊急避妊 30.7 月経 13.1 妊娠 7.8 妊娠不安 6.8 STD 5.0 避妊 4.2 病気 3.7 精神・心 2.7 その他性知識 2.6 男女交際 2.0 自慰 1.9 性交 1.7 中絶 1.5 夫婦問題 1.2 性器 1.0 性欲 1.0 問題行動 0.9 不妊 0.8 エイズ 0.4 更年期 0.2 近親姦 0.1 その他 10.9 不明 0.0	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.13.全国の思春期保健に関心のある指導者を対象とした「思春期保健セミナー」の開催とセミナー修了者を対象にした卒後セミナー、更にグレードアップセミナーの開催</p> <p>1.開催趣旨</p> <p>思春期は、子どもから大人へ移行していく重要な時期です。身体的・精神的・社会的に成熟していく思春期の子どもたちを取巻く状況は、性感染症の増加や望まない妊娠、犯罪の凶悪化など、近年ますます深刻化しています。本セミナーでは、保健・医療分野はもちろん、教育・福祉・司法など様々な分野で思春期に携わっている専門職の方々が多く参加されます。思春期をサポートしていく上で、援助者の専門分野を越えた連携＝ネットワークは重要です。本セミナーで最新の情報を取り入れるとともに、仲間づくりの場としても役立てていただき、思春期の子どもたちを的確な対応で支援して下さい。</p> <p>思春期保健の基礎から実践までをコース（総論編）、コース（各論編）、コース（実践編）の3段階に分け、ステップアップ方式で学びます。最終的に全て修了された方に、「思春期保健相談士」の認定をさせていただきます。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>*平成15年度より「思春期保健相談員」を「思春期保健相談士」と名称変更いたします。</p> <p>2.主催：(社)日本家族計画協会 後援：厚生労働省・文部科学省 後援・指導：日本思春期学会</p> <p>3.対象：保健師、助産師、看護師、医師、養護教諭、看護 教員、教職員、児童指導員、カウンセラー、 少年補導員、警察官等、保健・医療・教育・福祉・司法関係 者</p> <p>4.講師：松本 清一 (社)日本家族計画協会会長・自治医 科大学名誉教授・日本思春期学会名誉理事長 江幡玲子 思春期問題研究所所長・日本女子体育大学教 授・日本思春期学会監事 北村邦夫 (社)日本家族計画協会クリニック所長・日本思 春期学会常務理事 黒島淳子 東京女子医科大学産婦人科名誉教授・日本思 春期学会副理事長 白井將文 東邦大学名誉教授・博慈会記念総合病院顧 問・日本思春期学会理事長 高村寿子 自治医科大学看護学部教授・とちぎ思春期研 究会会長・日本思春期学会理事 武田敏 千葉大学教育学部名誉教授・日本思春期学会理 事 福富護 東京学芸大学教授・日本思春期学会理事 松崎一葉 筑波大学社会医学系助教授・日本思春期学会 理事 松峯寿美 東峯婦人クリニック院長・日本思春期学会評議 員 森宗 北九州津屋崎病院副院長兼青春期内科部長・日本 思春期学会常務理事</p> <p>5.内容：【プログラム】 6.開催実績</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画																																																
22.(社)日本 家族計画協会		<p>7.平成15年度末現在、思春期保健相談士数は5,945名に。思春期保健相談士を対象にしたセミナーも各種実施している。(思春期保健思春期保健相談員(は既に5,535人に) 思春期保健相談員を対象としたセミナーも各種実施している。</p> <p>都道府県別「思春期保健相談士」認定者数 (思春期保健セミナー ~ 修了者数)</p> <p>県名 人</p> <table border="0"> <tr> <td>北海道 142</td> <td>東京 562</td> <td>滋賀 51</td> <td>香川 67</td> </tr> <tr> <td>青森 112</td> <td>神奈川 317</td> <td>京都 55</td> <td>愛媛 184</td> </tr> <tr> <td>岩手 32</td> <td>新潟 268</td> <td>大阪 204</td> <td>高知 193</td> </tr> <tr> <td>宮城 124</td> <td>富山 56</td> <td>兵庫 171</td> <td>福岡 224</td> </tr> <tr> <td>秋田 24</td> <td>石川 32</td> <td>奈良 37</td> <td>佐賀 53</td> </tr> <tr> <td>山形 79</td> <td>福井 21</td> <td>和歌山 64</td> <td>長崎 41</td> </tr> <tr> <td>福島 126</td> <td>山梨 21</td> <td>鳥取 24</td> <td>熊本 112</td> </tr> <tr> <td>茨城 139</td> <td>長野 134</td> <td>島根 72</td> <td>大分 59</td> </tr> <tr> <td>栃木 144</td> <td>岐阜 55</td> <td>岡山 163</td> <td>宮崎 128</td> </tr> <tr> <td>群馬 79</td> <td>静岡 133</td> <td>広島 136</td> <td>鹿児島 147</td> </tr> <tr> <td>埼玉 246</td> <td>愛知 278</td> <td>山口 62</td> <td>沖縄 92</td> </tr> <tr> <td>千葉 273</td> <td>三重 25</td> <td>徳島 183</td> <td>その他 1</td> </tr> </table> <p>合計 5,945</p>	北海道 142	東京 562	滋賀 51	香川 67	青森 112	神奈川 317	京都 55	愛媛 184	岩手 32	新潟 268	大阪 204	高知 193	宮城 124	富山 56	兵庫 171	福岡 224	秋田 24	石川 32	奈良 37	佐賀 53	山形 79	福井 21	和歌山 64	長崎 41	福島 126	山梨 21	鳥取 24	熊本 112	茨城 139	長野 134	島根 72	大分 59	栃木 144	岐阜 55	岡山 163	宮崎 128	群馬 79	静岡 133	広島 136	鹿児島 147	埼玉 246	愛知 278	山口 62	沖縄 92	千葉 273	三重 25	徳島 183	その他 1	
北海道 142	東京 562	滋賀 51	香川 67																																																
青森 112	神奈川 317	京都 55	愛媛 184																																																
岩手 32	新潟 268	大阪 204	高知 193																																																
宮城 124	富山 56	兵庫 171	福岡 224																																																
秋田 24	石川 32	奈良 37	佐賀 53																																																
山形 79	福井 21	和歌山 64	長崎 41																																																
福島 126	山梨 21	鳥取 24	熊本 112																																																
茨城 139	長野 134	島根 72	大分 59																																																
栃木 144	岐阜 55	岡山 163	宮崎 128																																																
群馬 79	静岡 133	広島 136	鹿児島 147																																																
埼玉 246	愛知 278	山口 62	沖縄 92																																																
千葉 273	三重 25	徳島 183	その他 1																																																

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.創立50周年記念事業「思春期保健相談員学術研究大会」の開催 本会創立50年を機会に思春期保健相談員の全国組織化に向けて学術研究大会を行った。 期 日： 6月20日(金) 会 場：すみだリバーサイドホール(東京都) 参加者：185名 対 象：思春期保健相談員、思春期保健事業関係者 後 援：厚生労働省、文部科学省、国連人口基金、国際家族計画連盟、毎日新聞社、(財)家族計画国際協力財団、(社)全国保健センター連合会、(社)母子保健推進会議、(財)予防医学事業中央会、(財)東京都予防医学協会、日本思春期学会、日本性教育協会、日本性科学連合 内 容：記念講演「思春期健康教育の展開」 座長 前日本思春期学会理事長 高石 昌 弘 演者 本会会長 松 本 清 一 海外聘講演「オランダにおける思春期保健サービス」 座長 千葉大学名誉教授 武 田 敏 演者 IPPFグローバルアドボカシー局ユースコンサルタント トーチェ・ブラーケン 一般演題報告</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>セッション1 座長 日本思春期学会研修担当常務理事 森崇 施設助産師による地域での思春期活動 小林厚子 望まない妊娠をした思春期患者への支援 橋寿好 こころの健康相談における保健所の役割を考える 田 中秀子 思春期の健康問題と対処に関する教員の意識調査 小 川久喜子 セッション2 座長 思春期問題研究所所長 江幡玲子 ハートブレイクの思春期保健活動 黒瀬清隆 施設助産師による高校生の「総合学習の時間」への参 加 平川静江 充実したエイズ学習のためのピア・エデュケーションの 評価分析 三並めぐる 思春期保健の地域活動を展開する上での必要要件に 関する検討 和田由香 セッション3 座長 千葉大学名誉教授 武田敏 生理用ナプキンに付着した経血の色彩感測定 小野清 美 栃木県における思春期保健の充実と課題 伊藤秀子 思春期保健における新しいライフスキル教育法の開発 と地域における実践 武田敏 紙上掲載 子宮内膜症の精神的苦痛 馬橋和恵 ピアカウンセリング手法を用いた思春期性教育の実践 とその効果 忠津佐和代 ピアカウンセラー養成講座の充実～とちぎ思春期研究 会 田村一美 思春期相談センター「クローバーピアルーム」 設置運営プロジェクトチームの活動経過 渡辺利子</p>	
22.(社)日本 家族計画協会		<p>シンポジウム「ピアカウンセリングの推進」 座長 厚生労働科学研究ピアカウンセリング・ピアエデュ ケーション研究班班長・ 自治医科大学看護学部教授 高村寿子 シンポジスト 市役所における展開 栃木県小山市役所こども課保健師 小林典子 県出先機関における展開 福島県県北保健福祉事務所 保健師 菅野クニ 県の行政職の立場から 栃木県保健福祉部児童家庭課 主査 荒井浩巳 ピアカウンセラーの立場から とちぎ思春期研究会若者部 会長 江角伸吾</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>1,2,3,4,5,6,7,8,9 第3回ピアカウンセリング集中講座 厚生労働省、(財)日本性教育協会の後援、JFPA若者委員会(U-COM)の協力により開催した。 期 日: 8月29日(金)～8月31日(日) 会 場: 社会保険桜上水研修所(東京都) 受講者: 67名 内 容: 講義「セクシュアリティ基本概念」-人間にとっての性=セクシュアリティとは- 講義「思春期セクシュアリティとその理解-基礎編」 講義「思春期のセクシュアリティとその理解-応用編」～セックスをしたら起こり得ること:妊娠・STD感染～ チャットタイム 講義「ピアカウンセリング-理論編」 実習「ピアカウンセリングアクティブリスニング-実習」 実習「コ・カウンセリング-実習」～初めてのコ・カウンセリング～ 実習「コ・カウンセリング-実習振り返り」 実習「ブレインストーミング」～学んだことを活かしてこんなことをしてみたい～ 講義「ピアカウンセリングを用いた個別相談及び性教育実践に向けて」 まとめとクロージング 講 師: 自治医科大学看護学部健康教育学教授 高村寿子 本会会長 松本清一 聖路加看護大学教授 堀内成子 U-COMアドバイザー 渡辺純一 U-COM委員長 梁川亜希子 J-STARS PEER 五十嵐あい・江角伸吾</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.第3回ピアカウンセリング・コーディネーター研究集会(「健やか親子21」思春期保健対策推進方策セミナー)</p> <p>厚生労働省、文部科学省、(社)日本助産師会、(財)日本性教育協会、(財)健康・体力づくり事業財団、(社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会の後援で開催した。</p> <p>期 日:9月5日(金)～9月7日(日)</p> <p>会 場:社会保険桜上水研修所(東京都)</p> <p>受講者:85名</p> <p>内 容:講義 「健やか親子21の推進方策」 講義 「思春期保健の現状と課題」 グループワーク 「思春期ピアカウンセリング実践展開に向けて()」 フォーラムディスカッション「思春期ピアカウンセリング取り組みの実際」 グループワーク 「思春期ピアカウンセリング実践展開に向けて()」 講義・演習「若者とフレンドリーな関係を結ぶために」 全体シェアリング「思春期ピアカウンセリング実践展開に向けて()」</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>講師:自治医科大学看護学部教授 高村寿子 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課母子保健 専門官 三枝きよみ 本会会長 松本清一 FPA若者委員会アドバイザー 渡辺純一 事例発表:栃木県保健福祉部児童家庭課母子保健担当 副主幹 佐々木愛子 栃木県教育委員会事務局保健体育課保健給食担当指導 主事 小田林宏至 山形県置賜総合支庁保健福祉環境部地域保健予防技術 主査 山 田孝子 防府市健康福祉部健康増進課母子係 永 見道枝 沖縄県立本部高等学校養護教諭 上地悦子</p> <p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.日本思春期学会・東京思春期 保健研究会の事務局を担当</p> <p>1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.思春期保健対策の推進に寄与 する健康教育教材の開発並びに頒布 定価262円(税込み) A5判・32頁/表紙カラー・本文2色刷 日本禁煙医師歯科医師連盟幹事 東京都村山大和保健所所長 医学博士 斉藤 麗子 著 思春期の喫煙防止教育(防煙教育)に最適な小冊子 たばこに関する疑問をQ&Aでわかりやすく解説 興味をもたせながら、たばこに関する知識が無理なく身 につく 保護者へのアドバイスも掲載</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22.(社)日本 家族計画協会		<p>主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大人はたばこを吸ってもいいのに、なぜ未成年はダメなの？ 2. 周りが吸っているだけで害があるって本当？ 3. 吸うなら軽いたばこにすればいいのでは？ 4. たばこでダイエットできますか？ 5. 妊娠中のたばこは赤ちゃんによくないって本当？ 6. たばこを吸うと早く年を取るの？ 7. たばこを吸うと頭がスッキリするの？ 8. たばこはストレス解消になると聞きましたが…。 9. 一流スポーツ選手は吸わないって本当？ 10. 外国では、たばこのパッケージが日本と違うって本当？ 11. たばこを吸わないと「健康」の他にいいことは？ 12. 「吸ってもいい？」と聞かれたら？ 13. 親の喫煙、やめてほしいのですが…。 <p>資料</p> <p>○ 斉藤先生からのメッセージ(コラム) 思春期の気持ち ～感想文より～</p> <p>巻末 保護者の方へ</p>	
23.(財)日本 学校保健会	9.10.11.	<p>9.性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 *エイズパンフレットの配布 小学校ポスター 全校 中学1年パンフレット 全員 高校1年パンフレット 全員</p> <p>10.学校保健委員会開催と開催への支援強化 *「健康教育推進学校表彰事業」 学校・家庭・地域社会が協力して健康教育を推進し、 成果をあげている 学校を表彰する事業について、第二回の表彰を行った。</p> <p>11.外部機関と連携した薬物乱用防止教育の推進 *薬物パンフレットの配布 小学5年生 全員 中学1年生 全員 高校1年生 全員 *薬物ポスターの配布 小学生ポスター 全校</p>	<p>6.十代の飲酒の防止 小学生ポスター 全校 中学1年パンフレット 全員 高校1年パンフレット 全員</p> <p>9.性感染症に対する若者の知識の普及・啓発</p> <p>10.学校保健委員会開催と開催への支援強化</p> <p>11.外部機関と連携した薬物乱用防止教育の推進 は前年度と同様の活動を行う。</p> <p>新規として</p> <p>12.スクール・カウンセラーの配置と相談機能の強化 児童生徒の心の問題に対応するため、養護教諭、 学校医等の連携のあり方等を検討するため「心の 健康づくり推進委員会」を設ける。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会	6.8.9.10.	<p>6.十代の喫煙の防止</p> <p>1.たばこ対策の推進と普及</p> <p>1)看護学生のたばこ対策会議の開催 (目的)たばこ問題の理解と対策推進の検討・情報交換 (内容)第2回看護学生のたばこ対策会議の開催 ・看護教育現場の禁煙環境・防煙教育の実態調査 配布:1,502教育課程 回収:1,118教育課程(回収率74.4%)</p> <p>2)子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業の推進(厚生労働省委託・先駆的保健活動交流推進事業) (概要)地域における子どもの健康課題の解決や健康づくりにむけて、子どもの健康意識を高め子ども自身の生きる力、考える力を育てることをめざす、地域・学校保健活動連携支援事業を推進 児童生徒の喫煙防止対策行動計画の策定(福井県) (目的)喫煙の健康への悪影響に関する正しい知識の普及・たばこを吸わない環境づくりの推進 (内容)「丹南たばこ対策推進協議会」の設置および開催 ・喫煙に関する実態調査 ・健康教育の実施 ・「児童生徒の喫煙防止対策行動計画」の作成</p>	<p>6.思春期の保健活動の現状把握 思春期の心の理解</p> <p>6.十代の喫煙の防止</p> <p>1.看護学生のたばこ対策 (目的)看護学生に対する防煙教育の推進 (内容)看護学生用(十代の若者)パンフレットの作成・配布 作成部数:20,000部 配布先:看護教育機関、関連団体</p> <p>思春期の保健活動の現状把握</p> <p>1.「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討 (目的)助産師職能としての思春期活動の現状を把握し、今後の課題を検討する。 (内容)地域における助産師による思春期活動についての調査 思春期活動で看護者が必要とする能力の検討</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会		<p>8.9.避妊法、性感染症に対する若者の知識の普及・啓発</p> <p>1.基本的知識の普及と啓発</p> <p>1)「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討 (目的)思春期の保健対策の強化と健康教育の推進をしていくための職能の役割を検討する。 (内容)人工妊娠中絶、性感染症の減少をはかるための具体的な情報提供 「看護者が知っておきたい性の基礎知識-思春期保健に向けて-」の作成と配布 作成部数:10,000部 配布先:都道府県看護協会、会員施設、研修センターほか</p> <p>2)「まちの保健室」事業の推進 (概要)「まちの保健室」とは、日本看護協会が推進している新たな看護提供システム。 妊娠・出産・育児・療養生活や介護に関する相談・助言、年齢・世代を問わない健康相談、健康情報の提供、健康学習支援、市民同士の気軽な対話や世代を超えた交流の場、ネットワークづくりなどを含む多様な看護活動。 「まちの保健室」SYABERIBA(熊本県) (目的)思春期における心身の発達に関する正しい知識の普及/思春期も児童を対象としたこころからの相談窓口の設置/児童のエンパワメントと思春期保健相談事業の充実 (内容)空き店舗での児童を対象とした相談・学習・集いの場の開設 ・思春期の悩みに応えるピアカウンセラーの養成</p>	<p>2.母体保護法に関する検討 (目的)2005年の母体保護法第39条改正に向けて、受胎調節実地指導員の活動の拡大、強化の検討および政策提言を行う。 (内容)以下の点についての検討を行う。 受胎調節のために必要な医薬品販売の拡大の可能性について 「受胎調節実地指導員」の呼称の適否について 4年制看護大学における受胎調節実地指導員認定講習会の認可申請について 受胎調節実地指導員認定講習会のプログラム</p> <p>思春期の心の理解</p> <p>1.学校保健教育～思春期のこころと身体の発達～(日本看護協会神戸研修センター) (目的)思春期の若者について心身の成長発達を理解し、その健康問題の対応について考える。 (内容)・若者の身体的発達 ・若者のこころの発達 ・若者のこころの健康問題 ・地域の教育力を活かした学校教育 (日時)平成16年8月3日～4日<2日間> 定員50名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会		<p>児童、生徒、思春期のこころとからだの健康づくり-学校保健、親との連携で推進する「まちの保健室」(福島県)</p> <p>(目的)思春期の児童における性に関する正しい知識習得の支援 / 児童の思春期問題に対する予防解決力の向上支援 / 児童における自他の生命を尊重することの育成</p> <p>(内容)・思春期保健講座の開催(生命を実感する体験学習 - 出前講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職・医師・養護教諭らによる親を対象とした教育相談活動 ・看護職と教職員とによる懇親会の開催 ・性教育の専門医等を招いた講演会(対象:教職員、医療関係者) <p>上記8、9に加え10. 学校保健委員会の開催と開催への支援の強化</p> <p>学校保健との連携で推進するこころとからだの「まちの保健室」(東京都)</p> <p>(目的)小中学生の性に関する正しい知識の習得および人工妊娠中絶・性感染症予防の支援</p> <p>(内容)・小中学校における性教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性教育に関するパンフレット作成 ・中学生・保護者・教師を対象とした性に関する調査の実施 	
24.(社)日本看護協会		<p>3)子どもの健康づくりにおける地域・学校保健連携支援事業の推進(厚生労働省委託・先駆的保健活動交流推進事業)</p> <p>小・中・高校生と地域・学校が共に考え、歩む“生”と“性”(栃木県黒磯市)</p> <p>(目的)小・中学生、高校生を対象に「自分を大切に、相手を大切に出来る力を持ち、自ら望まない妊娠や性感染症を防ぐ力をつける」ための育成を共同して実施することにより、生徒の「生と性」に関する意識を高め、行動につなげる力を身につける。</p> <p>(内容)・小学校での児童・保護者を対象にした性教育講演の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との教育ディスカッション ・アンケートによる意識調査 ・相談窓口の設置 ・ピアカウンセリング 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
25. 日本公衆衛生学会	6. 十代の喫煙の防止	<p>取組テーマ毎に、平成15年度取組実績を具体的に書き下さい。</p> <p>1) 本学会では、これまで2回にわたり理事長名で、たばこ対策の推進を宣言してきた。平成15年度は、より一層のたばこ対策を推進するため、5つの基本方針に基づく行動計画をつくり、「たばこのない社会の実現に向けた行動宣言」として平成15年10月22日開催の本学会総会で宣言した。この宣言文の「基本方針5」の中に、未成年者の喫煙防止に関する行動計画が盛り込まれている。</p> <p>基本方針5：学校・地域・職域等の連携により、たばこ対策の実践活動を推進する。</p> <p>・衛生行政、学校保健、地域医療等の関係者(本学会の会員を含む。以下、同じ)が連携して、喫煙防止教育への人材派遣や教材面での支援及び受動喫煙の害について周知に努め、学校をはじめ地域の子ども関連施設の無煙化の実現を目指す。(以下、省略)</p> <p>行動宣言の全文は、日本公衆衛生学会ホームページの「活動内容」に掲載 http://www.jsph.jp</p> <p>2) 第62回総会(平成15年10月22日～24日、京都)において、「たばこ対策の今後」と題するシンポジウムを開催。未成年者の喫煙の実態とその要因、及び未成年者への禁煙支援に関する発表と討論があり、多くの参加を得た。</p>	<p>平成15年度に発表した「たばこのない社会の実現に向けた行動宣言」の周知を図り、各会員に基本方針に基づく行動を働きかける。また、他の専門学会等と連携して、喫煙対策の推進(学校の完全禁煙化などを含む)を関係機関に要請する予定。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
26.(社)日本産科婦人科学会	2.3.6.8.9.10.女性の健康支援	<p>上記テーマを中心に各地方部会にて公開講座を実施した。</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 11/12 旭川グランドホテル 女性がいつまでも美しくあるために-中高年女性の健康を考える- 98名 ・青森 9/28 下北文化会館 女性の健康を考える 114名 ・岩手 11/1 宮古シティホテル 性教育を考える 54名 ・山形 12/5 山形テルサ あなたが子宮がん検診で異常ありといわれたら・・・? 50名 ・栃木 11/21 獨協医科大学 第3回思春期医学懇話会 100名 ・埼玉 1/31 志木市ふれあいプラザ 若年女性のための健康講座 37名 ・千葉 2/21 千葉市女性センター 学校保健と産婦人科～産婦人科専門校医(相談医)の充実のために～ 125名 ・長野 12/6 若里市民文化ホール(長野市) 若者の性が危ない 450名 ・静岡 3月 県下中学校(3校) 産婦人科医による教育現場における性教育出張講座 学校行事(生徒,教師,PTA) ・富山 1/24 富山国際会議場大手町フォーラム 思春期から考える性の健康 450名 ・石川 10/19 金沢シティモンドホテル 若者に蔓延する性感染症 115名 ・岐阜 10/25 岐阜会館 女性の日常生活と健康管理 96名 ・大阪 12/3 大阪リサイタルホール 女性の健康とたばこ・ホルモン 180名 ・奈良 2/21 奈良県医師会館 女性のための健康講座 40名 ・和歌山 7/8 医大講堂 中高年健康セミナー 200名 	<p>2.3.4.8.9.14.15.女性の健康支援</p> <p>平成16年度地方部会担当公開講座予定</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 詳細検討中 ・青森 9/25 黒石市(スポカルン黒石) 女性の健康を考える ・岩手 北上市 10-11月開催予定 ・山形 詳細検討中 ・茨城 11/6 茨城県医師会館 検討中 ・栃木 7/10 栃木県総合文化センター 今、摂食障害を再考する ・埼玉 1-2月頃開催予定 ・千葉 詳細検討中 ・神奈川 詳細検討中 ・静岡 県下中学校 教育現場における性教育出張講座 3月予定 ・富山 富山国際会議場 詳細検討中 ・石川 6/26 勤労者会館 女性の健康を守る ・岐阜 10/23 長良川国際会議場 抗がん剤の副作用にたち向かって長生きしよう ・滋賀 検討結果:7月頃 ・大阪 女性のQOL向上を目指して ・奈良 奈良県医師会館 2月開催予定 ・和歌山 6/26 医大講堂 体にやさしい治療をもとめて ・鳥取 米子市福祉保健総合センター 女性の健康を考える 10月頃開催予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
26.(社)日本産科婦人科学会		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取 5/21 鳥取県医師会館 女性の健康を考えるー性感感染症と子宮頸癌 90名 ・島根 6/7 大東町民体育館 女性のための健康講座 180名 ・岡山 11/1 岡山国際会議場 中高年を健やかに美しく 51名 ・徳島 3/27 新聞放送会館 女性がんの早期発見のために 161名 ・香川 11/1 社会福祉総合センター 子宮癌なんてこわくない 80名 ・愛媛 11/3 愛媛県医師会館 第17回性教育セミナー 92名 ・高知 7/6 高知市文化プラザ 女性のための健康講座ー生理痛、子宮内膜症、不妊症を考えましょうー 70名 ・佐賀 1/10 アバンセ 女性健康講座～性感染症の予防～ 155名 ・熊本 3/6 つるやホール 女性の健康シリーズ9 156名 ・宮崎 8/23 宮崎県医師会館大ホール 性教育と感染症 139名 	<ul style="list-style-type: none"> ・島根 詳細検討中:12-3月開催予定 ・岡山 詳細検討中 ・徳島 お産に関する内容 3月頃開催予定 ・香川 11/20 社会福祉総合センター みずみずしいお肌と健康を維持する ・愛媛 愛媛県医師会館 第18回性教育セミナー 1月頃開催予定 ・高知 詳細検討中 ・福岡 12/4 詳細検討中 ・佐賀 2/5 アバンセ 中高年女性の健康講座(更年期、骨粗鬆症) ・熊本 2/26 つるやホール 検討中 ・宮崎 8/21 宮崎県医師会館 検討中 ・鹿児島 検討結果:8月末 ・沖縄 性感染症に関する内容 10-11月頃開催予定
28.日本思春期学会	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.60.61.62.	<p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 健康日本21 母子保健関係事業 学会誌での取組 「思春期学」VOL. 21 NO. 1 (特集)第21回日本思春期学会学術集会 60 シンポジウム4:思春期と栄養 廣田 孝子 (誌上研修)</p> <p>2,3,8,9 テーマ:思春期の健康教育の新戦略～ピアカウンセリング実践講座～ピアカウンセリングの手法を用いた性教育の理念と方法 高村 寿子 2,3,8,9 思春期ピアカウンセリング講座の実際～市町村における展開例～ 松沼 瑞枝 2,3,8,9 高校生の性および性教育に関する意識調査 平岡 友良 2,3,8,9 10代の性意識,避妊,男女交際の現状～初期人工妊娠中絶手術を受けた10代患者のアンケート調査より～ 橘 寿好 「思春期学」VOL. 21 NO. 2 (報告)</p> <p>60 食生活が思春期女子の初経発来に及ぼす影響 野田 艶子 60 食生活と健康との関連 (1) 食生活と自覚的身体症状との関連 伊藤 靖子</p>	<p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 健康日本21 母子保健関係事業 学会誌での取組 年4回発行予定の学会誌「思春期学」での取組を推進する。 平成16年9月「思春期学」では、「62 思春期の歯科保健」を特集する予定。 総会・学術集会での取組 第23回日本思春期学会学術集会は「心とからだの健康」をテーマに開催される。学会長は筑波大学体育科学系スポーツ医学 目崎 登教授。 開催 第23回日本思春期学会学術集会 期日 平成16年8月7日～9日 場所 茨城県 つくば国際会議場(エポカルつくば)プレングレスミーティング(市民公開講座) 「思春期の生活と健康」 6 「思春期に「タバコの真実」を～四十万人の禁煙教育から～」 無煙世代を育てる会代表・光潤会平間病院院長 平間 敬文</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		<p>(地域活動援助費に対する報告)</p> <p>1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 思春期の少女少女に対する活動 宮内 文久</p> <p>3, 9 エイズ予防教育の活動報告 金子由美</p> <p>2, 3, 8, 9 中学校における性教育の実際 齋藤 益子</p> <p>2, 3, 8, 9 若者主体の地域活動を目指2, 3, 8, 10して 和田 由香</p> <p>(誌上研修) テーマ: 人工妊娠中絶を受ける思春期女子の 看護</p> <p>2, 8 看護教育のポイント 遠藤由美子 看護実践のポイント 番内 和枝</p> <p>「思春期学」VOL. 21 NO. 33 (原著論文)</p> <p>13 全国における思春期外来ならびに思春期相談窓口 の設置状況に関する調査結果 加藤 則子</p> <p>(臨床報告)</p> <p>2, 3, 8, 9 ピアエデュケーションによる健康講座の実践 的検証 藏本美代子</p> <p>(報告)</p> <p>2, 3, 8, 9 北九州市内の中学校 4 校における性意識調 査 剣 陽子</p> <p>4.4 学生の児童虐待に対する関心の関連要因 関 秀 俊</p> <p>(誌上研修)</p> <p>4 テーマ: 摂食障害 摂食障害の初期治療 中野 弘一 一般内科からみた摂食障害 松崎 淳人</p> <p>「思春期学」VOL. 21 NO. 4</p>	<p>2, 3, 8, 9 「学校、家庭、地域で取り組む「性教 育・思春期保健」」 社団法人いはらき思春期保健協会 和田 由 香</p> <p>3, 9 「思春期における性感染症の現状」 龍ヶ 崎済生会病院副院長 武島 仁</p> <p>6.1 「思春期の骨と食生活」 筑波大学体育 科学系講師 麻見 直美</p> <p>10, 11, 12, 13 「学校保健と地域保健が取り組 む思春期の健康課題」 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻統合保 健看護科学分野教授 荒木田 美香子 会長講演</p> <p>6.1 「女子スポーツの光と影」 目崎登 特別講演</p> <p>6.1 「疾走能力の発達・走り始めから思春期まで -」十文字学園女子大学人間生活学部長 宮 丸 凱 史 シンポジウム</p> <p>6.1 「青少年の体力低下および体力づくり」 「子どもの体力の経年的変化」 筑波大学体育 科学系助教授 西 嶋 尚 彦</p> <p>「ジュニア選手の体力」 日本体育協会スポーツ 科学研究所 伊 藤 静 夫</p> <p>「子どものトレーニング」 筑波大学体育科学系 助教授 久野 譜 也</p> <p>「子どもの体力と免疫」 東北大学大学院医学 系研究科病態運動学分野教授 永 富 良 一</p> <p>「子どものケガと体力・身体特性」 早稲田大学 スポーツ科学部助教授 鳥 居 俊</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		<p>(特集) 60, 61 思春期から予防する生活習慣病 母子保健活動と生活習慣病予防 加藤 則子 思春期肥満と生活習慣病 杉原 茂孝 小児期（前思春期）からの生活習慣病予防 津田 芳見</p> <p>(特集) 6 思春期から予防する生活習慣病 思春期の喫煙防止 望月友美子...366</p> <p>(原著) 3, 9 介入アプローチの差による HIV 感染予防行動における自己効力感の比較 松本 淳子</p> <p>2) 総会・学術集会での取組 参加人数 一般公開講座 455人 学術集会 617人(医師・助産師・看護師・保健師、教育、心理、警察、福祉関係者など) 開催 第22回日本思春期学会学術集会(会長:京都府立医科大学大学院女性生涯医科学教授 本庄英雄) 期日 平成15年8月17日、18日 場所 国立京都国際会館 一般公開講座 心身ともに健やかに・美しく・快適に・思春期の女性とその親たちへのメッセージ 4, 6 第1部「思春期女子はやせ志向? 正しい知識で正しい栄養習慣」 (葉酸・鉄・カルシウムとからだの関係) 平原 史樹(横浜市立大学産婦人科 教授) 2, 3, 8, 9 演題2「2, 3, 8, 10『性の健康教育』の現場から」2, 3, 8, 11 小田 洋美(吉祥女子中・高等学校 教諭)</p>	<p>パネルディスカッション 60 「若年者における生活習慣病」 「小児、思春期の肥満」産業医科大学小児科学助教授 朝山 光太郎 「小児、思春期の糖尿病」筑波大学臨床医学系代謝内分泌内科講師 島野 仁 「小児、思春期の高脂血症」琉球大学医学部病態解析医科学講座育成医学分野教授 太田 孝男 「小児、思春期の高血圧」新潟大学大学院医歯学総合研究科内部環境医学講座小児科学分野教授 内山聖</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		<p>教育講演 4 「神経性食思不振症」座長：村田 光範(和洋女子大学大学院総合生活研究科 教授) 鈴木 眞理(政策研究大学院大学保健管理センター 教授)</p> <p>教育講演 6.1 「女性思春期の運動」 座長：中野 博子(人間総合科学大学人間科学部人間化学科 助教授) 伊藤 博之(聖路加国際病院 名誉医長)</p> <p>教育講演 6 「思春期と喫煙」 座長：高波 真佐治(東邦大学医学部附属佐倉病院泌尿器科学 教授) 高橋 裕子(奈良女子大学保健管理センター 教授)</p> <p>教育講演 3, 9 「十代若年女性のヒューマン パピロームウイルス感染 - 子宮頸癌予備軍 -」 座長：玉舎 輝彦(岐阜大学医学部女性生殖器学 教授) 鈴森 薫(名古屋市立大学大学院生殖・発生部門 教授)</p> <p>シンポジウム 「思春期と内分泌」 4 「摂食障害の中・長期に関する心身医学的検討」 牧野 真理子(牧野クリニック院長)</p> <p>シンポジウム 「思春期と教育」 10, 13 「産婦人科医が学校医として性教育に取り組んで来た事」土肥 定(土肥産婦人科医院 院長)</p> <p>ランチョンセミナー 2, 3, 8, 9 「リプロダクティブヘルスにおける思春期保健の重要性について」 座長：目崎 登(筑波大学体育研究科スポーツ医学 教授) 演者：安達 知子(東京女子医科大学産婦人科 助教授)</p>	
28. 日本思春期学会		<p>3, 9 「思春期とSTD - 治療の問題点」 座長：星合 昊(近畿大学医学部産婦人科 教授) 演者：保田 仁介(京都府立医科大学大学院女性生涯医科学 客員講師 松下記念病院産婦人科 部長)</p> <p>2, 8 「思春期におけるピルの応用」 座長：麻生 武志(東京医科歯科大学大学院生殖機能協関学 教授) 演者：山本 宝(京都府立医科大学大学院女性生涯医科学臨床教授 医療法人福井愛育病院 副院長)</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
29. 日本児童青年精神医学会	<p>児童および思春期のメンタルヘルス対策の基盤作り 児童および思春期メンタルヘルスに対する全国的な啓蒙啓発</p>	<p>1. 第44回日本児童青年精神医学会総会開催 開催日時 平成15年10月22日～24日 開催地 福岡県福岡市 参加者 893名 今日のテーマであるさまざまな児童問題について、研究および臨床実践について総括的な報告と検討を行った。 2. 関係委員会活動 取組テーマに関係のある委員会活動を通して、推進を図った。 例) (1)教育に関する委員会開催 (2)福祉に関する委員会開催 3. 第3回アジア児童青年精神医学会総会への協力 平成15年11月に台湾で開催された標記総会への協力を通して、国際的な視点で実践および研究成果の検討を行った。</p>	<p>1. 第45回日本児童青年精神医学会総会開催 開催日時 平成16年11月3日～5日 開催地 名古屋市 参加者 1000名を予定 児童思春期精神科医療の充実と展開にむけて、第一線の臨床家の実践成果や研究者の成果などについて学術報告と検討等を行うことで、この課題に取り組む。 本学会会員による全国各地での児童思春期精神科診療の充実に向けた活動を推進する。 2. 児童および思春期のメンタルヘルス対策の基盤作り 児童思春期のメンタルヘルスに係わる関係機関の効果的な連携と協力体制を押し進めるために、学会として指導的な立場に立って取組みを展開する。 具体的には、この目的に叶う委員会活動を行う予定である。 例) (1)教育に関する委員会開催 (2)福祉に関する委員会開催 また、児童福祉領域への支援として、児童虐待対策や児童福祉領域の研修のために社会的役割を果たすべき創設された「子どもの虹情報研修センター」の企画運営に積極的に協力する。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
37.(社)日本助産師会	2.3.8.9.	<p>2)十代の人工妊娠中絶の予防,3)十代の性感染症罹患の予防,8)避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発,9)性感染症に対する若者の知識の普及・啓発に対して</p> <p>(1)無料電話相談事業 全国47支部の「子育て・女性健康支援センター」、本部での思春期専門の無料電話相談を含め、1,754件の相談があった。</p> <p>(2)出張思春期教育の実施 全国47支部および本部「思春期相談室」において、支部の事業として積極的に推進した。 の推進に向けての教材整備のための助成(1支部10万円)を32支部に行った。 独立行政法人福祉医療機構の平成13年度「子育て支援基金」の助成で作成した、「中学・高校向けのビデオ教材」および「思春期教育指導マニュアル」の普及(頒布)に努めた。</p> <p>(3)思春期相談員の育成に努める。 社団法人家族計画協会主催の全国「避妊と性感染症予防のための実践セミナー」(約1600名参加)、いのちの応援舎主催「いのちの応援塾(性教育セミナー)」(40名参加)に共催協力し、特に助産師の参加を促した。</p>	<p>2)十代の人工妊娠中絶の予防,3)十代の性感染症罹患の予防,8)避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発,9)性感染症に対する若者の知識の普及・啓発に対して</p> <p>(1)無料電話相談事業 全国47支部の「子育て・女性健康支援センター」および、本部での思春期専門の無料電話相談を行う。</p> <p>(2)出張思春期教育の実施 全国47支部および本部「思春期相談室」において、支部の事業として積極的に推進する。 の推進に向けての教材整備のための助成(1支部10万円)を前年度同様の32支部に行う。</p> <p>独立行政法人福祉医療機構の平成13年度「子育て支援基金」の助成で作成した、「中学・高校向けのビデオ教材」および「思春期教育指導マニュアル」の普及(頒布)に努める。</p> <p>(3)思春期相談員の育成に努める。 社団法人家族計画協会主催の全国「明日から役立つ「性」の健康教育セミナー」(約1600名参加)、いのちの応援舎主催「いのちの応援塾(性教育セミナー)」(40名参加)に共催協力し、特に助産師の参加を促す。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
38. 日本性感染症学会	3.9.	<p>3. 十代の性感染症罹患の予防</p> <p>9. 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 講師派遣</p> <p>保健所・学校のセミナー・講演会などに当学会の役員・会員が講師として参加し、性感染症に関する知識を拡め、健康教育の推進を図った。</p> <p>学会講師派遣イベント一覧表 2003.01 - 2004.05</p> <p>2003.2.23・「女性の健康フォーラム」於東京国際フォーラム(熊本悦明名誉会員司会・井上正樹理事講演)</p> <p>2003.3.29・「公開セミナー 若者と性と健康」於福井商工会議所(熊本名誉会員・木原正博理事講演)</p> <p>2003.11.25・「第3回性の健康週間市民公開講座」於静岡県総合研修所もくせい会館(静岡県・厚生労働省・文部科学省他後援)(岩本愛吉理事・小野寺昭一常任理事講演)</p> <p>2003.12.6・市民公開講座「若者の性が危ない」於長野市若里市民文化ホール(岩室紳也評議員・堀口雅子理事講演)</p> <p>2004.2.1・トークライブ「ポジティブ・エイズ・トーク」於北九州市立男女共同参画センター(堀口雅子理事講演)</p> <p>2004.2.12・市民公開講座「性感染症・エイズー知ろう、話そう、予防しよう」於大泉学園ゆめりあホール(松田静治常任理事・早乙女智子評議員・根岸昌功理事講演)</p> <p>2004.5.8・「市民と高校生のためのエイズ・性感染症フォーラム」於ホテル日航熊本(熊本悦明名誉会員講演)</p>	<p>3. 十代の性感染症罹患の予防</p> <p>9. 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 講師派遣の継続</p> <p>本年も学校・保健所等の主催する、講演会・セミナーなどに当学会の役員・会員を講師として、派遣し、性感染症の知識の普及・予防啓発活動を行う。</p>
39. 日本赤十字社	10. 学校保健委員会の開催と開催への支援の強化	<p>本社で開催する青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)向けの講習会において、『健康安全プログラム』を取り上げ、具体的な指導方法の伝達を行うことで同プログラムの一層の普及を図った。</p> <p>(時期及び対象人数:平成15年6月 46名 平成15年8月 34名)</p> <p>また、各都道府県支部が主催して、青少年赤十字メンバーやその指導者を対象に、同プログラムの講習会を実施し、健康についての意識の向上を図った。</p>	<p>* 各種講習会における青少年赤十字健康安全プログラムの普及</p> <p>目的:本社で主催する講習会において、『健康安全プログラム』を取り上げ、具体的な指導方法の伝達を行うことで同プログラムの一層の普及を図る。</p> <p>対象者:青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)</p> <p>(時期、人数:6月及び8月、各50名程度)</p> <p>また、各都道府県支部が主催して、青少年赤十字メンバーやその指導者を対象に、同プログラムの講習会を実施し、健康についての意識の向上を図る。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
40. 日本タッチ ケア研究会	5.60..	<p>5 薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 * 研修会を実施 目的(テーマ): 薬物に関する現状と薬物乱用の有害性を伝え、学校内外での、教育や情報伝達を強化する。 参加人数(対象者): 200名(教育、保健関係者、PTA、民生委員等) 開催数、方法等: 3回(団体支部と県教育委員会との共同開催) 県、××県、 県で実施 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。</p> <p>60 栄養・食生活の改善 * パンフレットの作成、配布 目的: 乳幼児期からの健康的な食習慣の確立をねらいとした食教育リーフレットの作成 配布対象者: 関係機関(保健センター、児童館等)に配布 配布部数: 10000部 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。</p>	<p>5 薬物乱用 * 研修会を継続実施 前年と異なる内容: 開催数を5回に拡大 県、 県、……………で実施予定 参加人員: ……名程度を予定 * 「 週間」に、都道府県支部にて事業を実施 目的: 広く一般市民向けに薬物乱用の有害性等の普及・啓発を行う 開催県: 全都道府県 開催方法: ポスター作成の他、 県では、……………を予定 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。</p> <p>60 栄養・食生活の改善 * パンフレットの作成、配布(継続実施) 前年度と異なる内容: にも配布予定</p>
43. (財)日本 母子衛生助成 会	2.3.4.5.6.7.8.9.	<p>2 十代の人工妊娠中絶の予防 3 十代の性感染症罹患の予防 4 15歳の女性の思春期やせ症の発生予防と治療の促進 5 薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 6 十代の禁煙の防止 7 十代の飲酒の防止 8 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 9 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 * パンフレットの作成、配布 目的: 高校男女生徒に「健康は自分で育て、自分で守ろう」との意識向上を図ることを目的に、パンフレット「ティーンズヘルスノート」を作成 配布対象者: 自治体・高等学校を通じて住民・生徒に配布 配布部数: 90万部 効果: 思春期のからだ、健康、性感染症等についての正確な情報と健康維持について、高等学校の保健体育、家庭の副読本に利用されています。 また、自治体からの住民の思春期の健康等に関する普及啓発を図るリーフレットとしてもご活用いただいています。</p>	<p>2 十代の人工妊娠中絶の予防 3 十代の性感染症罹患の予防 4 15歳の女性の思春期やせ症の発生予防と治療の促進 5 薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 6 十代の禁煙の防止 7 十代の飲酒の防止 8 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 9 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 * パンフレットの作成・配布を継続実施</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会	2.3.8.9.10.12.60.	<p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進</p> <p>1) 学会誌での取組</p> <p>3 十代の性感染症罹患の予防 「母性衛生」44巻1号 高校生のクラミジア感染症に関する認識 - 性行動、避妊の実態の分析を中心に（藤井奈緒他）</p> <p>8 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 *「母性衛生」44巻1号 青年期女性の低用量経口避妊薬(OC)のイメージとその普及に関連する要因の研究(木戸久美子他) 女子高校生に対する性教育の実態とその評価(三島みどり他)</p> <p>60 栄養・食生活の改善 *「母性衛生」44巻2号 ・思春期女性の性成熟と栄養・食生活の関連(岡崎愉加他)</p> <p>2) 総会・学術集会での取組 参加人数 約2000名(医師・助産師・看護師・保健師など) 開催 第44回日本母性衛生学会学術集会 期日 平成15年10月9・10日 場所 栃木県宇都宮市栃木県総合文化センター</p> <p>8. 避妊法に対する若者の知識の普及・啓発 9. 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 「目的」 効果あるSexuality教育の確立および道徳教育の再生の提言を行う。 「効果」 理事長講演(理事長岩崎寛和)において本学会における性教育に関する取り組み方が示された。</p>	<p>1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13</p> <p>思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 学会誌での取組 年4回発行予定の学会誌「母性衛生」での取組を推進する。</p> <p>総会・学術集会での取組 本年度第45回日本母性衛生学会学術集会において下記の講演を実施し、これらのテーマについて会員の理解と対策を深めるとともに、総合討論を行い検討考察する。 予定参加人数 約2000名(医師・助産師・看護師・保健師など) 開催 第45回日本母性衛生学会学術集会 期日 平成16年9月16・17日 場所 東京都 京王プラザホテル</p> <p>Virtual Image 時代の思春期の性の問題とその対応と題しシンポジウムを行い、総合討論を行う。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44.日本母性衛生学会		<p>2.十代の人工妊娠中絶の予防 「目的」 望まない妊娠の予防および性感染症予防の対策にあたっての基礎資料とするため。 「効果」 上記のテーマについて渡辺尚先生(自治以下大学産科婦人科助教授)より教育講演 においてコンドームの必要性が述べられた。また、北村邦夫先生(日本家族計画協会クリニック所長)からはサテライトシンポジウムにおいて日本人の避妊と中絶の現状が報告された。</p> <p>3.8.9.10.12 シンポジウム「コミュニティベースの性教育 わたしのからだ・あなたのからだ」 カフェで話そう STDの予防 小中高生も大人も学ぶプロヘルス 性教育絵本で伝える「うまれるいのち・つながるいのち」 ピアカウンセリング シンポジスト赤枝恒雄、鈴木幸子、きくちさかえ、木塚次子先生を中心に総合討論を行った。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
47.(社)日本 薬剤師会	5.6.	<p>5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 「薬剤師のための薬物乱用防止研修会」の開催 目的(テーマ):児童・生徒の薬物乱用防止に向けた指導者の育成 開催数:1回(愛知県で開催) 参加人数:302名(学校薬剤師など) 効果:「薬物乱用防止研修会」を受講した薬剤師が講師となり、学校教育の一環として、児童・生徒対象の薬物乱用防止の啓発活動を実施 「薬と健康の週間」(10月17~23日)において、薬物乱用防止をテーマとした各種事業を各都道府県薬剤師会等で実施。 効果:シンナー、覚せい剤等の恐ろしさを周知し、特に青少年に対して薬物乱用防止を啓発</p> <p>6.十代の喫煙の防止 パンフレット「喫煙と健康」及び「いや!たばこの煙」の作成・配布 広く一般国民を対象としたパンフレット「喫煙と健康」と、主に妊婦や未成年・父母・学校を対象とした「いや!たばこの煙」を作成し、「いいお産の日シンポジウム」(平成15年11月3日・於:日本教育会館)、平成15年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究推進事業シンポジウム(平成16年2月24日・於:労働スクエア東京)、その他各種キャンペーン等で配付。平成15年度の配付実績は、「喫煙と健康」、「いや!たばこの煙」とも各54,000部。 効果:受動喫煙による健康被害の説明に留まらず、喫煙防止を広く啓発</p>	<p>5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 「薬物乱用防止研修会」を実施(継続) 目的(テーマ):児童・生徒の薬物乱用防止に向けた指導者の育成 開催数:1回(長崎県で平成16年9月5日に開催) 参加人数:約200名(学校薬剤師など) 効果:「薬物乱用防止研修会」を受講した薬剤師が講師となり、学校教育の一環として、児童・生徒対象の薬物乱用防止の啓発活動を実施 「薬と健康の週間」(10月17~23日)において、薬物乱用防止をテーマとした各種事業を各都道府県薬剤師会等で実施。 効果:シンナー、覚せい剤等の恐ろしさを周知し、特に青少年に対して薬物乱用防止を啓発(継続)</p> <p>6.十代の喫煙の防止 パンフレット「喫煙と健康」及び「いや!たばこの煙」の作成・配布(継続) 広く一般国民を対象としたパンフレット「喫煙と健康」と、主に妊婦や未成年・父母・学校を対象とした「いや!たばこの煙」を作成し、各種キャンペーン等で配付。 効果:受動喫煙による健康被害の説明に留まらず、喫煙防止を広く啓発</p>
47.(社)日本 薬剤師会		<p>「喫煙防止啓発パネル」の無償貸与 禁煙教育に用いるための「喫煙防止啓発パネル」を作成し、都道府県薬剤師会及び支部薬剤師会に対して無償貸与。各種イベントで展示・活用。 開催数:8道県10回(北海道1回、青森県1回、岩手県2回、福島県2回、新潟県1回、徳島県1回、福岡県1回、宮崎県1回) 効果:一般市民に対し、喫煙防止を広く啓発</p>	<p>「喫煙防止啓発パネル」の無償貸与(継続) 禁煙教育に用いるための「喫煙防止啓発パネル」を作成し、都道府県薬剤師会及び支部薬剤師会に対して無償貸与。各種イベントで展示・活用。 効果:一般市民に対し、喫煙防止を広く啓発</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
49.(財)母子衛生研究会		<p>「健やか親子21」課題1～4に関すること全般 ＊「母子保健指導者研修会」の実施 目的:母子保健に関する正しく且つ新しい情報の伝達。 参加人数(対象者):10,500名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者) 開催数、方法等:46回(厚生労働省、開催地区自治体、関係団体等の後援にて開催) 全国都道府県で実施 効果、その他:妊婦や育児中の母親と直接接する関係者に最新情報を提供することで、育児不安や虐待等母子保健が直面している問題の一助となることが期待される。 ＊「これからの母子保健を考えるシンポジウム」の実施 目的:母子保健の懸念されている事柄について、問題提起とその対応について考える。 参加人数(対象者):350名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者) 開催数、方法等:1回(厚生労働省、関係団体等の後援にて開催) 東京都で実施 効果、その他:各方面の専門家の意見を聞くことで、問題がより明白となり、多角的に問題に取り組めることが期待される。</p>	<p>「健やか親子21」課題1～4に関すること全般 ＊「母子保健指導者研修会」の実施 参加人数:10,500名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者)を予定。 開催数、方法等:47回(全国都道府県で実施予定) ＊「これからの母子保健を考えるシンポジウム」の実施 参加人数:350名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者)を予定 開催数、方法等:1回(東京都で実施予定)</p>
52.日本小児歯科学会	5.60.	<p>5薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 ＊研修会を実施 目的(テーマ):薬物に関する現状と薬物乱用の有害性を伝え、学校内外での、教育や情報伝達を強化する。 参加人数(対象者):200名(教育、保健関係者、PTA、民生委員等) 開催数、方法等:3回(団体支部と県教育委員会との共同開催) 県、××県、 県で実施 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。 60栄養・食生活の改善 ＊パンフレットの作成、配布 目的:乳幼児期からの健康的な食習慣の確立をねらいとした食教育リーフレットの作成 配布対象者:関係機関(保健センター、児童館等)に配布 配布部数:10000部 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。</p>	<p>5薬物乱用 ＊研修会を継続実施 前年と異なる内容:開催数を5回に拡大 県、 県、……………で実施予定 参加人員:…名程度を予定 ＊「 週間」に、都道府県支部にて事業を実施 目的:広く一般市民向けに薬物乱用の有害性等の普及・啓発を行う 開催県:全都道府県 開催方法:ポスター作成の他、 県では、……を予定 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。 60栄養・食生活の改善 ＊パンフレットの作成、配布(継続実施) 前年度と異なる内容: にも配布予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
55. 日本学校保健学会	6. 十代の喫煙の防止	前年に引き続き、「学校をタバコのない場所に！」という運動を行った。 この運動のためのプロジェクトを引き続き学会内で組織しており、次年度には学校敷地内禁煙の早期実施を求める要望書の提出を予定している。	本年度も上記の活動を継続して行っていく。 すでに16の都道府県が都道府県単位の学校敷地内禁煙を実施しているが、実施時期を検討しているが、これを除いた31都道府県の教育長宛に学校敷地内禁煙の早期実施を求める要望書の提出を行う予定である。 なお一層の普及に向けて、様々な方法で働きかけを続けていく。
59. 性と健康を考える女性専門家の会	2.3.8. 思春期の健康問題と性教育に関する専門家・一般への啓発	2. 十代の人工妊娠中絶の予防 1) 講演会を実施(北海道支部) 『思春期の子どもたちに伝えたい性の健康知識』 日 時:平成15年7月11日(金)、12日(土) 内 容:『実践的性教育講座』、『就学前幼児への性教育実践』、『性の基礎知識』、『思春期の性の健康についての正しい知識をどのように伝えるか』 2) 出版物の発行(北海道支部) 『思春期の子どもたちに伝えたい性の健康知識』 内 容:上記講演会の内容に基づき作成 発 行:平成15年11月(頒価1,000円) 3. 十代の性感染症罹患の予防 1) 論文発表 野々山未希子ほか:若者の性行動とセーフターセックスに関するセルフエフィカシー(自己効力感)測定尺度の作成、日本性感染症学会誌、14(1)、52-59、2003. 2) 調査研究の実施 日本版セルフエフィカシースケール(前年度作成)を使った性教育の効果について、2種の視聴覚による比較介入研究 8. 避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 1) 出版物の発行 “マーガレット・サンガー”(エレン・チェスラー著 早川敦子監訳)日本評論社 2003.5.30 9. 性感染症に対する若者の知識・技術の普及・啓発 講演会を実施(北海道支部) 『エイズの現状と課題そしてピア・カウンセリングの試み』 日 時:平成15年12月7日(日) 内 容:『エイズの現状と課題』、『ピア・カウンセリングの試み～仲間として～』	3.6.8. 思春期の健康問題と性教育に関する専門家・一般への啓発 3. 十代の性感染症罹患の予防 1) 論文発表 野々山未希子ほか:STD予防VTRが若者のセーフターセックスに与える影響、日本性感染症学会誌、15(1)掲載予定 2) 調査研究 ・厚生労働省科研費事業「若年者を対象とした性感染症の実態把握と蔓延防止システムの構築」に継続して協力 ・試作した日本版コンドームセルフエフィカシースケールが、普遍的に使えるよう信頼性の検証 6. 十代の喫煙の防止 1) 性教育と禁煙啓発活動を合同で行う(性教育講座の際に同時に禁煙教育や指導の講座を開催する) 8. 避妊法に対する若者の知識の普及・啓発 1) 調査研究 国内の避妊実態調査や、海外の情報収集 9. 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 1) STD教育用教材ビデオの製作 思春期の健康問題と性教育に関する専門家・一般への啓発 1) 広報活動 ・ニュースレターの発行(6, 9, 12, 3月) ・ホームページ(月1回更新)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
59.性と健康を考える女性専門家の会		<p>思春期の健康問題と性教育に関する専門家・一般への啓発</p> <p>1) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレターの発行 <p>年間4回: 2003/7/25:21号、2003/10/25:22号、2004/1/9:23号、2004/3/31:号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報提供 <p>http://square.umin.ac.jp/pwch/</p>	
64.(社団)日本女医会	2.9.及び3.8.	<p>十代の人工妊娠中絶の予防</p> <p>性感染症に対する若者の知識の普及・啓発</p> <p>* 「十代の性と健康」指導者養成講座を五回開催(第四回から第八回)</p> <p>目的: 十代の妊娠中絶率の増加に伴い、増加している性感染症の恐ろしさを教え、正しい科学的知識・予防法等を徹底する。新しい手法の紹介し、地域におけるネットワーク作りにも大いに貢献した。</p> <p>参加人数(対象者):</p> <p>第四回 132名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他)</p> <p>第五回 112名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他)</p> <p>第六回 198名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他)</p> <p>第七回 122名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他)</p> <p>第八回 226名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他)</p> <p>開催数 5回</p> <p>方法等 「性と健康を考える女性専門家の会」の協力得て、さらに各県、各県医師会、各県教育委員会等の後援を得、専門性の高い講師を選定し、講演内容も受講者より極めて好評であった。</p> <p>* 性教育指導の専門指導者の養成とネットワーク作り</p>	<p>十代の人工妊娠中絶の予防</p> <p>性感染症に対する若者の知識の普及・啓発</p> <p>* 「十代の性と健康」指導者養成講座を東京近郊2ヶ所で開催する。</p> <p>* 地域における性教育の充実と強化およびネットワーク作り</p> <p>* 会誌に「健やか親子21」について、記事を掲載する。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
67. 日本泌尿器科学会		<p>北九州泌尿器科医会特別講演 平成15年1月16日開催 小倉リーガロイヤルホテル 約100名参加 概要 健やか親子21について学会員に説明し、積極的な取組を促した。</p> <p>第33回東邦大学泌尿器科懇話会特別講演 平成15年9月13日催 東京八重洲ホール 約50名参加 概要 思春期が抱える「性」に関する種々の問題点を明らかにし、積極的な取組の必要性を強調した。</p> <p>男子思春期問題研究会会議 平成15年11月1日 石川県立音楽堂会議室 研究会委員10名が参加 概要 男子思春期に関する諸問題、特に性感染症予防のための啓発活動を日本各地で展開することについて話しあった。</p> <p>第45回岐阜泌尿器科医会特別講演 平成15年11月21日開催 岐阜会館 約100名参加 概要 健やか親子21に対する泌尿器科医の取り組むべき課題を説明した。</p>	<p>男子思春期問題研究会の活動 概要 研究会のメンバーを中心に、行政、教育現場、保健所などと連携し、一般市民に思春期に関わる諸問題とその対策について啓発する。</p> <p>泌尿器科関連学会で、思春期に関する特別講演、シンポジウムを行なう。 概要 平成15年度に引き続き、各地の泌尿器科学会関連学会の際に思春期問題を取り上げる。特に、性感染症など「性」に関わる諸問題を重点的に検討する。</p> <p>泌尿器科以外の専門医、教育関係者、行政との連携 概要 思春期問題を多面的に捉え、有効な施策を検討する。</p>
71. (財)日本性教育協会	2.3.8.9.	<p>2、3、8、9を、個別ではなく、一つのテーマと考え取り組んだ。 【研究会・セミナーの実施】 ・「第33回全国性教育研究大会」実施 基本テーマ「性 新たな関係の創造」 参加人数(対象者):660名(教育、保健関係者、PTA等) 開催方法等:8月7日(水)～9日(金) 栃木県宇都宮市で実施 (全国性教育研究団体連絡協議会ととちぎ思春期研究会と共催) 特別講演「健やか親子21と性教育の取り組み」(松本清一・日本家族計画協会会長) 講演「わが国の性教育における質的転換」(高村寿子・自治医科大学教授) ・セミナー「最新Sexual Health教育の実践的進め方」実施 参加人数(対象者):約40名(教育関係者等)計150名。 開催回数・方法:4回、当財団セミナールームで実施。 (特定非営利活動法人 ぶれいす東京と共催) ・「第5回性科学セミナー」開催 基調講演「セクシュアル・ヘルスの推進」(宮原 忍・当財団理事) ・「平成15年度世界エイズデーシンポジウム」実施 2004年11月28日(金) 参加人数(対象者):250名(教育関係者) 開催数・方法:1回、国立オリンピック記念青少年総合センター (文部科学省、財団法人日本学校保健会と共同主催)</p>	<p>2、3、8、9を、個別ではなく、一つのテーマと考え取り組む。 【研究会・セミナーの実施】 ・「第34回全国性教育研究大会」協賛 基本テーマ「性教育、その新たな発展をめざして」 参加人数(対象者):約600名(教育、保健関係者、PTA) 開催方法等:8月4日(水)～6日(金) 山口県山口市で実施予定。 (全国性教育研究団体連絡協議会と山口県性教育研究会と共催) ・セミナー「最新Sexual Health教育の実践的進め方」を継続実施 参加人数(対象者):各回40名(学校教育、保健関係者等) 開催回数・方法:4回、当財団セミナールームで実施 (特定非営利活動法人 ぶれいす東京と共催) ・「平成16年度世界エイズデーシンポジウム」実施予定 参加人数(対象者):250名(教育関係者) 開催数・方法:1回、国立オリンピック記念青少年総合センターで実施 (文部科学省、財団法人日本学校保健会と共同主催)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
71. (財)日本性教育協会		<p>【研究助成と研究成果の発表】 マイノリティーの社会環境および世代によるHIV感染リスクの違いに関する研究 タイ北部山岳民族の性意識・性行動調査から 小堀 栄子(京都大学大学院医学研究科博士課程) 性被害を受けた生徒への養護教諭の対応の現状と課題質的調査を通して 杉村 直美(愛知県立安城高等学校定時制養護教諭・名古屋大学大学院研究科) 上記の研究に助成。研究成果を第44回日本 = 性研究会議で口頭発表し、論文集『日本 = 性研究会議』会報第14巻1号に掲載・有料で配布(2003年11月)。</p>	<p>【研究助成と研究成果の発表】 若者のリプロダクティブ・ヘルス/ライツの確立と向上に効果的な「性(リプロ)教育プログラム」とその「評価法」 劔 陽子(産業医科大学医学部公衆衛生学助手) 高校時の性行動に及ぼす友人関係の影響の比較 五十嵐哲也(筑波大学大学院博士課程教育学研究科) 出産を決意した10代女性の実態と社会環境の課題 大川 聡子(大阪府立看護大学助手) 上記の研究に助成し研究成果を口頭発表し、論文集『日本 = 性研究会議』会報第16巻1号に掲載・有料で配布予定。</p>
72. すくすく子育て研究会		<p>5薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 * 研修会を実施 目的(テーマ): 薬物に関する現状と薬物乱用の有害性を伝え、学校内外での、教育や情報伝達を強化する。 参加人数(対象者): 200名(教育、保健関係者、PTA、民生委員等) 開催数、方法等: 3回(団体支部と県教育委員会との共同開催) 県、××県、 県で実施 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。 60栄養・食生活の改善 * パンフレットの作成、配布 目的: 乳幼児期からの健康的な食習慣の確立をねらいとした食教育リーフレットの作成 配布対象者: 関係機関(保健センター、児童館等)に配布 配布部数: 10000部 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。</p>	<p>5薬物乱用 * 研修会を継続実施 前年と異なる内容: 開催数を5回に拡大 県、 県、……………で実施予定 参加人員: ……名程度を予定 * 「 週間」に、都道府県支部にて事業を実施 目的: 広く一般市民向けに薬物乱用の有害性等の普及・啓発を行う 開催県: 全都道府県 開催方法: ポスター作成の他、 県では、……を予定 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。 60栄養・食生活の改善 * パンフレットの作成、配布(継続実施) 前年度と異なる内容: にも配布予定</p>